

第 12 回 石狩川上流減災対策協議会

取組方針のフォローアップ

(令和 7 年度までの取組と取組事例)

令和 8 年 3 月 4 日

1 令和7年度までの取組

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
	<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 侵食対策 構造物改築 	V	<ul style="list-style-type: none"> ・流下能力が不足する3川合流点付近を中心に河道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①流下能力が不足する地区を中心に河道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施する予定 ②河岸侵食リスクを鑑み適切な侵食対策を実施する予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・流下能力の不足している近文地区の河道掘削を実施。 ・河岸侵食リスクの高い、忠別川及び辺別川で対策を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流下能力の不足している雨紛地区の河道掘削を実施。 ・河岸侵食リスクの高い、忠別川及び辺別川で対策を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流下能力の不足している雨紛地区の河道掘削を実施。 ・河岸侵食リスクの高い、忠別川及び辺別川で対策を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流下能力の不足している雨紛地区の河道掘削を実施。 ・河岸侵食リスクの高い、忠別川及び辺別川で対策を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流下能力の不足している雨紛地区の河道掘削を実施。 ・河岸侵食リスクの高い、忠別川及び辺別川で対策を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流下能力の不足している雨紛地区の河道掘削を実施。 ・河岸侵食リスクの高い、忠別川及び辺別川で対策を実施。 	引き続き実施
■危機管理型ハード対策											
	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防表法尻の補強 	V	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫リスクの高い区間において、粘り強い堤防(堤防天端の舗装、堤防法尻の補強)の整備を実施。 	-							完了(逐次見直し)
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
	①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計の水位情報や簡易型河川監視カメラ画像を確認出来る「川の水位情報」を提供 ・直轄河川の上流から下流まで連続的に、洪水危険度を把握・表示する「水害リスクライン」を提供 	①河川情報の発信、伝達の向上を図るため、河川情報提供システムは今後も改良予定	今後改良予定	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村防災担当向けの水害リスクライン予測情報提供 ・水害リスクラインとキキクル(危険度分布)の統合 	今年度の見直しはなし	今年度の見直しはなし	今年度の見直しはなし	今年度の見直しはなし	引き続き検討・実施
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、OCTVカメラの設置	M	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」を設置 ・多くの画像情報を取得し住民に提供することで、適切な避難判断を促すことを目的に「簡易型河川監視カメラ」を設置 	①継続した観測機器の運用・保守、必要に応じた設置や移設を実施予定	観測機器の保守点検を実施	雨量・水位観測機の保守点検及び必要に応じ更新を実施	観測機器の保守点検、更新を実施。すでに設置されている危機管理型水位計について保守点検の実施及び必要に応じ更新を実施	観測機器の保守点検、更新を実施。すでに設置されている危機管理型水位計について保守点検の実施及び必要に応じ更新を実施	観測機器の保守点検、更新を実施。すでに設置されている危機管理型水位計について保守点検の実施及び必要に応じ更新を実施	観測機器の保守点検、更新を実施。すでに設置されている危機管理型水位計について保守点検の実施及び必要に応じ更新を実施	完了(逐次見直し)
	③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」を設置 ・多くの画像情報を取得し住民に提供することで、適切な避難判断を促すことを目的に「簡易型河川監視カメラ」を設置 	①継続して実施予定	水防拠点の整備に向けて検討中	水防拠点の整備に向けて検討中	西神楽地区の水防拠点整備について検討中	西神楽地区の水防拠点において、基盤盛土を実施	西神楽地区の水防拠点において、基盤盛土を実施	西神楽地区の水防拠点において、基盤整備中	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・流域全市町村におけるタイムライン(簡易版)作成 ・タイムラインの実践やタイムラインを用いた研修等において精度向上を図る	①継続した避難勧告型タイムラインの周知や運用を行い、必要に応じて見直しを行うなど精度向上を図る	見直し検討中	・流域関係自治体と避難情報に着目したタイムラインを更新 ・流域関係機関と流域タイムライン案を作成 ・台風接近時に流域関係機関と危機感の共有を行うため、Web会議にて関係情報説明を実施	流域タイムラインを基に旭川開建における一連での時系列対応を整理中	今年度の見直しはなし	今年度の見直しはなし	完了 (逐次見直し)
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	・避難の切迫性が確実に伝わるよう主文の改良を実施 ・氾濫発生情報発表時の浸水の恐れがある地域表示を想定最大規模の洪水を対象とした範囲まで拡大 ・警戒レベルの採用や読み仮名を付けるなど洪水予報文を改良	①情報の明確化を図るため、必要に応じた洪水予報文の改良を行う予定	見直し検討中	・今後の水位超過予測によるレベル3、4の前倒し発表に対応した洪水予報文の改良(R4.6.13から運用開始)	今年度の見直しはなし	洪水予報等の情報通知様式を分かり易い表現にするために変更 (変更時期は未定)	今年度の見直しはなし	引き続き検討・実施
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J	・石狩川、忠別川、美瑛川、辺別川、牛朱別川、オサラッベ川、牛朱別川・永山新川の洪水浸水想定区域図等の作成・公表	①必要に応じて見直しを予定	今年度の見直しは無し	・発生確率規模毎の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップ(浸水深別の発生頻度マップ)を作成・公表	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	完了(逐次見直し)
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・ハザードマップ等作成のための支援として浸水想定区域図等のデータや資料を随時提供	①必要に応じて見直しを予定	今年度の見直しは無し	・今年度の見直しは無し	今年度の見直しは無し	今年度の見直しは無し	今年度の見直しは無し	完了(逐次見直し)
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・周知や利活用の促進を図るため、ハザードマップポータルサイトや地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)へ洪水浸水想定区域等データを登録	①ハザードマップの活用促進に向けて事例提供等の支援を実施予定	3Dハザードマップ案への意見収集を実施。マップ案作成自治体を追加	・3Dハザードマップ作成支援(美瑛町) ・3Dハザードマップ作成に向けたデータ提供(東神楽町)	今後、3Dハザードマップを作成する市町村へ支援を継続	今後、3Dハザードマップを作成する市町村へ支援を継続	今後、3Dハザードマップを作成する市町村へ支援を継続	引き続き実施
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・モデル校において、作成した指導計画に基づく防災授業を実施。 ・指導計画について、協議会内で共有。	①自治体からの意見を集約し防災教育素材を整理予定 ②小中学校で活用しやすいようにHP等で素材を共有予定	防災教育素材をHPにアップ	・作成した防災教育素材に関するアンケート調査を実施 ・アンケートから担当教諭等へヒアリングを実施 ・今後、防災教育素材やHPの改良予定	今後、防災教育素材やHPの改良予定	今年度の見直しは無し	朝日小学校に「逃げキット」の資料提供及び防災教育支援のHPを紹介	引き続き実施
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・旭川市、鷹栖町、美瑛町にて、排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練、樋門操作訓練等を実施	①勉強会、研修会等を実施予定 ②排水ポンプ車の設置訓練などを実施予定	①流域自治体、消防組織、災害時協定会社を対象に水防技術講習会を実施 ②美瑛町役場及び大雪消防組合美瑛消防署と排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練を実施	・鷹栖町、美瑛町にて、排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練、樋門操作訓練等を実施 ・旭川市の住民避難訓練及び上川総合振興局管内中堅幹部消防団の訓練時に災害対策機械の展示し、役割や機能についての説明を実施	・美瑛町は排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練を実施 ・鷹栖町は水防専門家による水防工法の受講後、土のう作成、設置等の水防訓練を実施	・美瑛町は排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練を実施 ・鷹栖町は水防工法(土のう作成)、排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練の水防訓練を実施	・美瑛町は排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練を実施 ・鷹栖町は水防工法(土のう作成)、排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練の水防訓練を実施	引き続き実施
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・ダム見学会の継続実施 ・地域政策懇談会等においてダムに関する広報活動を実施 ・消防団水防活動実績のHP公開	①イベント、HP等を活用した広報活動を実施予定	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベント等が中止	・ダム見学会の実施 ・R4.7.7水辺で乾杯(忠別川)で流域治水・減災に関するパネル展示実施	・ダム見学会の実施	・ダム見学会の実施	・ダム見学会の実施	引き続き実施
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区の図面を作成し、自治体に提供	①対象外となっている地区の情報提供及び確認作業の支援を実施予定 ②検討に際しては支援を実施予定	①対象外地区の情報共有済み ②今後、検討を支援	②検討中	検討中	検討中	今年度の対応は無し	完了(逐次見直し)

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・重要水防箇所等の共同点検を実施	①関係機関と共同点検を実施予定	豪雨災害対策研修を実施	・流域タイムライン作成時に越水危険箇所等の確認を実施	関係機関との間で、重要水防箇所の机上確認を実施。	豪雨災害対策研修を実施し、関係機関との間で、重要水防箇所の机上確認を実施。	豪雨災害対策研修を実施し、関係機関との間で、重要水防箇所の机上確認を実施。	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域における自治体及び関係機関を対象とした豪雨災害対策職員研修のサポートを実施(石狩川流域圏会議)	①豪雨災害対策職員研修(石狩川流域圏会議)などの支援を実施予定	豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	・豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	・豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	・豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	・豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	引き続き実施
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において定期的に情報共有を行う	①減災対策協議会等で情報共有を行う予定	減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	引き続き実施
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知を図った	①減災対策協議会等で周知する予定	減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	引き続き実施
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・浸水想定区域公共施設成図(水位観測所、警察、病院、避難所等)を自治体に提供 ・早期に避難が必要な区域の抽出及び避難時の課題抽出	①必要に応じて提供情報の更新を実施予定	水害リスクマップ作成	・発生確率規模毎の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップ(浸水深別の発生頻度マップ)を作成・公表	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)にて説明を実施	①減災対策協議会等で出動要請方法等を説明予定	減災対策部会(旧水防連絡協議会)にて説明を実施	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)、豪雨災害研修及びWeb会議ツールによる危機感共有時に手順や連絡先の説明を実施	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)、豪雨災害研修及びWeb会議ツールによる危機感共有時に手順や連絡先の説明を実施	豪雨災害研修及びWeb会議ツールによる危機感共有時に手順や連絡先の説明を実施	豪雨災害研修時に手順や連絡先の説明を実施	引き続き実施
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ車及び、排水ポンプパッケージ等災害対策用機械の操作訓練を災害協定業者に対し実施	①操作訓練を実施予定	災害協定会社に対し、排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージ等災害対策用機械操作訓練を実施	災害協定会社に対し、排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージ等災害対策用機械操作訓練を実施	排水ポンプパッケージの操作訓練を関係機関と実施	排水ポンプパッケージの操作訓練を関係機関と実施	災害協定会社に対し、排水ポンプ車及び災害対策用機械操作訓練を実施	引き続き実施(ポンプパッケージは前項⑤と被るので削除)
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・潜水時間24時間以上となる箇所全てを抽出し、石狩川上流排水計画ハンドブック及び石狩川上流域・ポンプ式進入ルート図(水系全体)作成(R2.3完成)	①排水作業準備計画の更新を実施、各関係機関に提供予定	減災対策部会(旧水防連絡協議会)にて配付	・計画の変更は無し	計画の変更は無し	樋門釜場の整備の検討及び設計を実施	樋門釜場の整備の検討及び設計を実施	引き続き検討・実施

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
	①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A	スマートフォン等の位置情報機能を活用し、自分のいる場所の「洪水警報の危険度分布」をワンタッチで表示する改善を実施。「危険度分布」における危険度の高まりをプッシュ型で通知するサービスを気象庁と民間の協力事業者で開始。「危険度分布」と浸水想定区域等リスク情報を重ね合わせる改善を実施。TwitterやYouTubeを利用した情報発信の開始。	必要に応じて改善を進める。	ホームページの改善を行い、市町村ごとの各種情報を一画面で見ることが可能となり、かつスマートフォン上での表示についても充実を図った。	R4.6に以下の改善を実施 ・線状降水帯による大雨の可能性を半日程度前から呼びかけ・キキクル(危険度分布)「黒」の新設と、「うす紫」と「濃い紫」の統合。それに伴うスマートフォンでの表示の改善。 ・大雨特別警報(浸水害)の指標の改善	これまで、線状降水帯の発生をもって「顕著な大雨に関する気象情報」を発表していた。新たに雨量予測も用いて、最大30分早く発表できるよう改善。(令和5年5月～)	これまで、線状降水帯の大雨の可能性を半日前から呼びかけをしてきた。今年度より対象地域を地方単一位から府県単一位に絞り込んで呼びかける改善(北海道地方から上川・留萌地方へ)。(R6.5)	令和8年度からの防災気象情報(警報・注意報)の体系整理に向けた準備(情報名称の変更、警戒レベル4相当情報の新設、洪水関係の情報変更など)	引き続き実施	
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M									
	③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q									

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	避難の切迫性が確実に伝わる主文への改良や、警戒レベルの追記を行った。また、大雨特別警報の警報等への切り替えに合わせて洪水予報(臨時)を発表するよう改良を行った。	必要に応じて改善を進める。	R2までの取組を継続して実施。	指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表(R4.6)	今年度の改良なし。	開発建設部と共同で発表している指定河川洪水予報の予報文の形式変更R7.1)	今年度の改良なし。	引き続き実施
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	学校安全推進会等において教職員向けに講演を実施した。一日防災学校等において小中学生を対象に講演を実施した。また、防災教育素材の紹介や、教科書副読本の作成に協力した。	関係機関と協力して対応を行なう。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	学校安全推進会議等において小・中・高及び養護学校の防災担当教員向けに講演を実施した。一日防災学校等において小学生を対象に講演を実施した。	昨年度に引き続き、学校安全推進会議等において小・中・高及び養護学校の防災担当教員向けに講演を実施した。一日防災学校等において小学生を対象に講演を実施した。	学校安全推進会議等において小・中・高及び養護学校の防災担当教員向けに講演を実施。一日防災学校等において小学生を対象に講演等を実施。(東神楽小など)で実施。	引き続き実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関・自治体が主催する防災訓練、防災教室等において講演を実施した。	関係機関と協力して対応を行なう。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	自治体が主催する防災訓練において、防災講話やパネル等展示を継続して実施。 ・石狩川水系忠別川総合水防演習に参加	引き続き実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	防災フェア・コミュニティFM・気象庁HPをとおして気象防災普及啓発を進めた。また、気象庁HPにおいて防災気象情報等の多言語化(14か国語対応)を実施した。	関係機関と協力して対応を行なう。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	防災フェア・コミュニティFM・気象庁HPをとおして防災気象情報の普及啓発を継続して実施。	引き続き実施	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P									
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	市町村職員向けに、研修会での講演や、中小河川の氾濫を想定した防災対応を考える気象防災ワークショップを実施した。	市町村と協力して、個別に気象防災ワークショップを実施する。	R2までの取組を継続して実施。R04.02に上川中部4市町、上川南部4市町村と中小河川の氾濫を想定した気象防災ワークショップを実施。石狩川流域圏会議豪雨災害対策職員研修での講演実施。	R2までの取組を継続して実施。 ・土砂災害や中小河川の氾濫を想定した気象防災ワークショップを実施。 ・石狩川流域圏会議豪雨災害対策職員研修での講演実施。	R2までの取組を継続して実施。 ・本年の大雨顕著事例について気象台の発表する防災気象情報の今後の改善等を目的に、振り返りを複数市町村と行った。(令和5年10月)	R2までの取組を継続して実施。 ・本年の大雨顕著事例について気象台の発表する防災気象情報の今後の改善等を目的に、振り返りを複数市町村と行った。(令和5年8月～11月)	土砂災害や中小河川の氾濫を想定した気象防災ワークショップを継続して実施。	引き続き実施	
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会席上において気象災害事例等の情報提供を行なった。	引き続き情報提供を行なう。	R2までの取組を継続して実施。R03.12から週2回自治体を対象に5分程度のオンラインによる気象解説を開始。	R2までの取組を継続して実施。 ・R03.12から週2回自治体を対象に5分程度のオンラインによる気象解説を開始。	R2までの取組を継続して実施。 ・Zoomを活用した市町村等への気象解説を、上川・留萌各(総合)振興局及び旭川・留萌各開発建設部との5者連携・協力とし、気象解説と情報共有を行なう場とした。(令和5年8月～)	昨年度に引き続き「上川・留萌管内防災連携TV」により、平時・臨時による気象解説等実施。	zoomを活用した「上川・留萌管内防災連携TV」により、平時・臨時による気象解説等を継続して実施。	引き続き実施	
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L									
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R									
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項												
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S									
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組												
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組												
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U									
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T									
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T									

〇概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組										
■洪水を河川内で安全に流す対策										
	・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V	堤防整備、河道掘削を実施	引き続き実施する。	堤防整備、河道掘削を実施	堤防整備、河道掘削	堤防整備、河道掘削	堤防整備、河道掘削を実施	堤防整備、河道掘削、護岸、構造物改築、伐木	引き続き実施
■危機管理型ハード対策										
	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V	堤防の天端舗装を実施	引き続き実施する。	堤防の天端舗装を実施	堤防の天端舗装を実施	---	---	---	完了(逐次見直し)
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備										
	①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M	洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する簡易水位計の設置(R元年度で完了)		---	---	---	---	---	完了(逐次見直し)
	③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	引き続き実施する。	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・タイムラインを用いた研修や訓練への協力 ・タイムライン試行運用開始	協力依頼等があれば適宜実施する。	・避難情報に関するガイドラインの改訂(「避難勧告等→避難情報」など)に伴い、タイムラインを変更し市町村へ周知。	---	・必要に応じた関係機関との調整	・必要に応じた関係機関との調整	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	完了 (逐次見直し)
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J	・牛朱別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を作成。	未定	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図を市町村へ配付	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図をWEBサイトに公表	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図をWEBサイトに公表	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図をWEBサイトに公表	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図をWEBサイトに公表	完了(逐次見直し)
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・牛朱別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定	同上	同上	同上	同上	同上	完了(逐次見直し)
	③想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まごまごハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・牛朱別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定	同上	同上	同上	同上	同上	引き続き実施
	④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・美瑛町防災教室(美瑛町、美瑛消防署、旭川地方気象台 主催)への参加 ・1日防災学校の実施を支援(旭川市:旭川第1小学校、美瑛町:美沢小学校)	・引き続き、地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。	・防災授業の実施を支援(比布町:比布中央小学校)	・防災授業の実施を支援(旭川市:旭川霊学校、旭川北高等学校、比布町:比布中央学校、愛別町:美深高等養護学校あいべつ校)	・1日防災学校の企画・実施支援(東神楽小学校、旭川北高校、比布中央学校)。	・1日防災学校の企画・実施支援。	・1日防災学校の企画・実施支援。	引き続き実施
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施 ・市町村が実施する住民を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・引き続き各機関が実施する防災訓練等への参加・協力する。	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・市町村が実施する住民を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・市町村が実施する住民を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施。 ・北海道防災マスター認定研修会及びフォローアップ研修を実施。 ・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施(比布町)。	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施。 ・北海道地域防災マスター認定研修会を実施。 ・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施。 ・北海道地域防災マスター認定研修会を実施予定。 ・避難所運営ゲームDoはく講師養成研修会を実施。 ・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。 ・石狩川水系別川総合水防演習を実施	引き続き実施
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・特になし	・関係機関と協力して対応する。	・特になし	・特になし	・必要に応じた関係機関との調整	・必要に応じた関係機関との調整。	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	引き続き実施
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・特になし	未定	・特になし	ハザードマップ作製の基となる想定最大規模も含めた浸水想定区域図のWEB公表に伴い、対象外となっている地区の作製・公表状況について調査し把握	・特になし	・特になし。	・特になし	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施する。	道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検を実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検を実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検を実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検を実施。	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施 ・災害ボランティア組織連携会議の実施を支援 ・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	引き続き、市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援等を実施	・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施(比布町)。	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	引き続き実施	
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	本協議会を通じて情報共有を実施。	引き続き実施	
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L									
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R									
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S									
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U									
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T									
	③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T									

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J								
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J								
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小中学生を対象に防災講話を実施。	小中学生を対象に防災講話を実施予定。	・小中学生の庁舎見学時等において防災講話等を実施。	・小中学生の庁舎見学等において防災に関する説明を実施。	小中学生の庁舎見学等において防災に関する説明を実施した。	・小中学生の庁舎見学等において防災に関する説明を実施した。	小中学生の庁舎見学、交通講話等の機会に合わせて防災講話を実施した。	引き続き実施
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・水害が予想される地域の交番連絡協議会などで注意喚起を行う。	・町内会等に対して防災講話(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対してDIG訓練(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対して防災訓練(水害含む)を実施予定。	・コロナ禍であったことから、小規模に住民等を対象とした防災講話を実施。	・町内会等を通じた住民に対する防災講話、DIG訓練を実施。 ・各自治体等主催の防災訓練に参加。	高齢者を対象として防災講話、DIG訓練を実施した。 各自治体が主催する防災訓練に参加した。	・高齢者等の地域住民を対象として防災講話や災害図上訓練を実施したほか、自治体等が主催する訓練や講習会に参加した。	高齢者等や地域住民を対象として、防災講話や災害図上訓練を実施したほか、避難行動要支援者等が参加する各種会合において、防災講話を実施した。 ・石狩川水系忠別川総合水防演習に参加	引き続き実施
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・110番通報受理時における通訳を含めた三者通話システムを活用している。	・広報誌、イベントにおいて引き続き、啓発活動を実施予定。	・ミニ広報誌やインターネット、ケーブルテレビを活用し防災広報を実施。 ・110番通報受理時における通訳を含めた三者通話システムの活用。	・警察署ホームページ、ミニ広報誌等を活用し防災広報を実施。	外国人技能実習生、大学、日本語学校の留学生に対してDIG訓練及び防災講話を実施。 訓練・講話については通訳員(英語)を介して実施した。 警察署ホームページやミニ広報誌等を活用した防災広報を実施した。	・外国人技能実習生や日本語学校の留学生に対して防災講話等を実施 ・警察署ホームページやミニ広報誌等を活用した防災広報を実施	外国人技能実習生に対して、防災講話を実施した。 各種イベント会場における防災講話を行い、来場者に対する啓発活動を行った。	引き続き実施
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施。	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施予定。	・警察署ごとに災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を図る。	・災害発生予想危険箇所の把握、作成した教養資料による職員への周知徹底を図った。	・災害発生予想危険箇所の実査を行った。教養資料を作成し、職員へ教養することで周知徹底を図った。	・災害発生予想危険箇所の実施踏査し、教養資料を作成するなどして職員への周知徹底を図った。	各警察署において災害危険箇所を実地踏査したうえ、教養資料を作成し職員へ周知した。	引き続き実施
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・各自治体等が実施する防災訓練への参加。	・各自治体等が実施する防災訓練に参加予定。	・各自治体等が実施する防災訓練への参加。	・各自治体等が実施した防災訓練に参加。	・自治体等が実施した防災訓練に参加した。	・自治体等が実施した防災訓練に参加した。	各警察署管内の自治体等が実施した防災訓練に参加した。	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・警察署毎に市町村防災担当者との連携共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	・警察署毎に市町村防災担当者との連携共有、連絡体制の保持する予定。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施予定。	・市町村防災担当者との情報共有や連絡体制の確立を図る。 ・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。	・各自治体の防災担当者との情報共有、連絡体制の確立。	・各警察署毎に市町村担当者との情報共有、連絡体制の確立について確認した。	・各自治体の防災担当者との情報共有や連絡体制を確立を図った。	各市町村の防災担当者との情報共有や連絡体制の確立について確認を行った。	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他 (実施にあたって の問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他 (実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・自衛隊の災害派遣・装備品等に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品等に関する事項について情報共有を実施予定。	・コロナ流行下のため、未実施	・市民等を対象とした訓練は未実施	・学校等において、器材を用いた防災教育を実施	・自衛隊の災害派遣・装備品等に関する事項について情報共有を実施した。	・学校等において、器材を用いた防災教育を実施	引き続き実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施した。	①各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施予定。	・自治体が主催する防災訓練において、水災害に関する装備品の展示を実施	・自治体が主催する防災訓練において、氾濫を想定した図上訓練に参加するとともに、水災害に関する装備品展示を実施	・自治体が主催する防災訓練において、氾濫を想定した図上訓練に参加するとともに、水災害に関する装備品展示を実施	・自治体が主催する防災訓練において、水災害に関する装備品の展示を実施	・自治体が主催する防災訓練において、氾濫を想定した図上訓練に参加するとともに、水災害に関する装備品展示を実施	引き続き実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・自衛隊の災害派遣・装備品等に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品等に関する事項について情報共有を実施予定。	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	引き続き実施	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他 (実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P									
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・市町村が実施する防災訓練に参加した。 ・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。	①市町村が実施する防災訓練に参加予定。 ②石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・市町村防災担当者と情報共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	・市町村防災担当者と情報共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	・市町村防災担当者と情報共有、連絡体制の保持した。	・市町村防災担当者と情報共有、連絡体制の保持した。	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L									
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R									
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項												
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S									
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組												
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組												
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・本協議会で情報共有を実施。	・本協議会で情報共有を実施予定。	・流域治水、減災対策幹事会等の場において、情報共有及び関係者との連絡態勢の確立を図る。	・流域治水、減災対策幹事会等の場において、情報共有及び関係者との連絡態勢の確立を図る。	・流域治水、減災対策幹事会等の場において、情報共有及び関係者との連絡態勢の確立を図る。	・関係機関が実施する訓練等に参加。	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・関係機関が実施する訓練等に参加。	・関係機関が実施する訓練等に参加予定。	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加。	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	引き続き実施
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T									

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A									
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	-			-	-	-	-		引き続き実施
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	-			-	-	継続実施	継続実施		引き続き実施
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	-	重要水防箇所A(工作物)について河川管理者、橋梁管理者、市町村担当者と共に共同点検を実施。	-	-	-	-	-	引き続き実施
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A								
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U								
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・H28.4.8 避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成。 ・R1年にタイムラインを用いた部局内訓練を実施。	・出水期前に内容の確認を含め、必要に応じて見直しを実施。	・避難情報の変更に伴い、内容の再確認及び見直しを実施した。	・避難情報の変更に伴い、内容の再確認及び見直しを検討した。	・北海道の「避難情報の発令判断・伝達マニュアル」の更新を受けて、当市のマニュアルの改定に向けて検討を進めた。	・「旭川市避難マニュアル」について、市ホームページに掲載するとともに、防災講習等で配付し、周知を図った。	・令和8年度中に行われる防災気象情報の変更を受け、当市「避難情報の発令判断・伝達マニュアル」の改定に向けて検討を進めた。	引き続き実施
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	—	・防災講習等を通じてマイタイムラインの周知や作成の支援をする。 ・随時実施	・防災講習等の際に、マイタイムラインの周知・作成についての支援を行った。	・防災講習等の際に、マイタイムラインの周知・作成についての支援を行った。	・防災講習等の際に、マイタイムラインの周知・作成についての支援を行った。	・防災講習等の際に、マイタイムラインの周知・作成についての支援を行った。	・「旭川市避難マニュアル」について、市ホームページに掲載するとともに、防災講習等で配付し、周知を図った。 ・防災講習等の際に、マイタイムラインの周知・作成についての支援を行った。	引き続き実施
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	—	—	—	—	—	—	—	—
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を地域防災計画に定め、情報伝達体制を構築(毎年修正)。	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を精査し、避難確保計画未報告の施設に対して、作成し報告するよう通知する。	・避難確保計画未報告施設に対し、報告期限を設定したこと等により報告率が向上した。	・浸水想定区域内の要配慮者利用施設を精査し、新たに放課後児童クラブを地域防災計画に定めた。 ・新規の要配慮者利用施設及び避難確保計画未報告の施設に対して、作成し報告するよう通知した。	・新規の要配慮者利用施設及び避難確保計画未報告の施設に対して、作成し報告するよう通知した。	・新規の要配慮者利用施設及び避難確保計画未報告の施設に対して、作成し報告するよう通知した。	・新規の要配慮者利用施設及び避難確保計画未報告の施設に対して、作成し報告するよう通知した。	引き続き実施
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	—	・避難行動要支援者名簿を毎年更新するとともに、避難支援等関係者に対して活用方法等の普及啓発を行う。	・消防本部、町内会10、市民委員会6、社会福祉協議会9、民生委員4、医療機関1に名簿を提供した。	・令和4年7月に避難行動要支援者名簿を更新し、消防本部及び避難支援等関係者32団体に名簿を提供した。	・令和5年7月に避難行動要支援者名簿を更新し、消防本部及び避難支援等関係者39団体に名簿を提供した。	・令和6年7月に避難行動要支援者名簿を更新し、消防本部及び避難支援等関係者41団体に名簿を提供した。	・令和7年7月に避難行動要支援者名簿を更新し、消防本部及び避難支援等関係者54団体に名簿を提供した。	引き続き実施
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・H25年道北市長会構成市で災害時の相互応援に関して覚書を締結している。 ・H27年災害時における北海道及び市町村相互の応援、広域一時滞在等に関する協定を締結した。	・本協議会を通じて、広域避難、避難について情報収集、意見交換を行う。	・旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョンにより、広域避難計画を含む様々な連携を検討した。	・旭川大雪圏域連携中枢都市圏を構成する1市8町で、広域避難も含めた防災体制の連携、相互応援体制の構築を図るための意見交換を行った。 ・本協議会を通じて、広域避難、避難について情報収集、意見交換を行った。	・旭川大雪圏域連携中枢都市圏を構成する1市8町で、広域避難も含めた防災体制の連携、相互応援体制の構築を図るための意見交換を行った。 ・本協議会を通じて、広域避難、避難について情報収集、意見交換を行った。	・旭川大雪圏域連携中枢都市圏を構成する1市8町で、広域避難も含めた防災体制の連携、相互応援体制の構築を図るための意見交換を行った。 ・本協議会を通じて、広域避難、避難について情報収集、意見交換を行った。	・旭川大雪圏域連携中枢都市圏を構成する1市8町で、広域避難も含めた防災体制の連携、相互応援体制の構築を図るための意見交換を行った。 ・本協議会を通じて、広域避難、避難について情報収集、意見交換を行った。 ※R8.3までに会議開催予定	引き続き実施
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ツイッター、緊急速報メール等を整備した。	・既存の情報伝達手段の活用方法について普及啓発するとともに、適宜、新たな情報伝達手段について検討する。	・新庁舎(総合庁舎)の令和5年度からの供用開始に向けて、新たな情報伝達手段について検討した。	・水害時に、HP・SNSで迅速に情報提供した。 ・新庁舎の供用開始に向けて、各種情報システムの移設等について検討した。	・気象警報発表時等に、HP・SNSで迅速に情報提供した。 ・新庁舎の供用に併せ、各種情報システムの移設についても滞りなく実施した。	・気象警報発表時等に、HP・SNSで迅速に情報提供した。	・気象警報発表時等に、HP・SNSで迅速に情報提供した。 ・各種情報伝達手段に一斉配信が可能な旭川市災害時緊急情報配信システムを構築した。 ※R8.3までに整備予定	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、H31年3月に住民に配布した。(ホームページに日本語、英語版を掲載) ・講習会等を通して周知した。	・必要に応じて更新を検討する。 ・講習会等を通して市民へ周知する。	・経年によるハザードマップ修正についてのチラシを作成、配布した。	・経年によるハザードマップ修正についてのチラシを作成、配布した。	・地震時に使用できない避難所を定め、ハザードマップ修正についてのチラシを作成、配布した。	・避難所の指定や指定解除の情報を含め、ハザードマップ修正についてのチラシを作成、配布した。 ・令和7年度中のハザードマップ全面改定へ向け準備を進めた。	・避難所の指定や指定解除の情報を含め、ハザードマップ修正についてのチラシを作成、配布した。 ・新しいハザードマップを作成し、全戸配付を行った。 ※R8.3完了予定	完了(削除) 新しい洪水ハザードマップの作成により、中小河川における浸水想定、雨水出水想定を追加したため	
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちはハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちはハザードマップの管理を行う。	・洪水ハザードマップの活用を含め、避難判断・行動方法の普及啓発に取り組む。	・講習会等で、3Dハザードマップを利用し、浸水イメージの展示を行った ・3Dハザードマップの活用方法について検討した。	・地区防災会議が作成する地区防災計画に「まるごとまちはハザードマップ」の設置場所を掲載することについて、同会議内での検討を進めた。	・「まるごとまちはハザードマップ」の設置場所を掲載した地区防災会議を地域防災計画に定めた。	・「まるごとまちはハザードマップ」設置場所について、点検を含む維持管理と防災講習等での周知を図った。	・「まるごとまちはハザードマップ」設置場所について、点検を含む維持管理と防災講習等での周知を図った。	引き続き実施	
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・防災センター施設見学等の利用促進について検討した。 ・R2年8校の小学校において1日防災学校を実施した。	関係機関と連携し、防災教育の支援を行う。	・3校の小学校において1日防災学校を実施した。	・3校の小学校において1日防災学校を実施した。	・1校の小学校において1日防災学校を実施した。	・1校の小学校において1日防災学校を実施した。	・2校の小学校において1日防災学校を実施した。	引き続き実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施した。 ・関係機関と連携し効果的な訓練を検討、実施した。	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施する。 ・関係機関と連携し効果的な訓練を実施する。	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施した。 ・関係機関と連携し効果的な訓練を検討、実施した。	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施した。 ・協定締結機関と連携し、福祉避難所開設訓練を実施した。	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施した。 ・関係機関と連携し効果的な訓練を検討、実施した。	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施した。 ・関係機関と連携し効果的な訓練を検討、実施した。	・地域における講習会など様々な機会を捉え、水防災に関する意識啓発を実施した。 ・関係機関と連携し効果的な訓練を検討、実施した。 ・石狩川水系別川総合水防演習を実施	引き続き実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・HPやSNS、広報誌等の活用や講習会等で、水防災意識の啓発実施した。 ・R2年4月に旭川市避難マニュアル(市民用)を改訂した。	・HPやSNS、広報誌等の活用や講習会等で、水防災意識の啓発を実施する。	・HPやSNS、広報誌等の活用や講習会等で、水防災意識の啓発を実施した。 ・災害対策基本法の改正等を踏まえ、R3年5月に旭川市避難マニュアル(市民用)を改訂した。	・広報誌に水害に関する情報を掲載するなど、HPやSNS、講習会等を活用し、水防災意識の啓発を実施した。	・広報誌に水害に関する情報を掲載するなど、HPやSNS、講習会等を活用し、水防災意識の啓発を実施した。 ・マイタイムラインを含めた旭川市避難マニュアル(市民用)の改定に向けて検討を進めた。	・広報誌に水害に関する情報を掲載するなど、HPやSNS、講習会等を活用し、水防災意識の啓発を実施した。 ・旭川市避難マニュアル(市民用)を改定した。	・広報誌に水害に関する情報を掲載するなど、HPやSNS、講習会等を活用し、水防災意識の啓発を実施した。	引き続き実施	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」を周知した。	講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」を周知する。	講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」の周知を図った。	講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」の周知を図った。	講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」の周知を図った。	講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」の周知を図った。	講習会等を通して「旭川市浸水想定区域図空白地」の周知を図った。	完了(削除) 新しい洪水ハザードマップの作成により、中小河川における浸水想定、雨水出水想定を追加したため	

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施。	・出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	・出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	・出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	・出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	・出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	引き続き実施
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・旭川市災害対策本部訓練を実施。	石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加。	・水防技術講習会に参加した。 ・石狩川流域圏会議等により、防災対応力向上を図った。	・石狩川流域圏会議の豪雨災害対策職員研修に参加した。	・石狩川流域圏会議の豪雨災害対策職員研修に参加した。	・石狩川流域圏会議の豪雨災害対策職員研修に参加した。	・石狩川流域圏会議の豪雨災害対策職員研修に参加した。	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有する。 ・減災対策部会等で情報を共有。	・石狩川流域圏会議(防災WG)等において定期的に情報共有を行った。	・本協議会を通じて情報共有を行った。	・本協議会を通じて情報共有を行った。	・本協議会を通じて情報共有を行った。	・本協議会を通じて情報共有を行った。	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防協力団体の募集の手法等について検討。	・水防協力団体の募集の手法等について検討。	・水防協力団体の募集の手法等について検討した。	・水防協力団体の募集の手法等について検討した。	・水防協力団体の募集の手法等について検討した。	・水防協力団体の募集の手法等について検討した。	・水防協力団体の募集の手法等について検討した。	引き続き実施
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・防災訓練や各種媒体を用いて消防団員の募集を実施した。	・防災訓練や消防本部主催行事で消防団員の募集を周知。	・各種媒体を用いて消防団員の募集を実施した。	・各種媒体を用いて消防団員の募集を実施した。	・消防団行事や各種イベント、各種媒体を用いて消防団員の募集を実施した。	・消防団行事や各種イベント、各種媒体を用いて消防団員の募集を実施した。	・消防団行事や各種イベント、各種媒体を用いて消防団員の募集を実施した。	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・R2年3月に旭川市災害時受援計画を改訂・修正した。 ・R2年5月に旭川市業務継続計画を策定した。 ・新庁舎の建設工事に着手。	・必要に応じて計画の見直しを行い、機能維持について検討する。 ・防災拠点としての新庁舎の運用を開始し、備蓄倉庫の整備を検討する。	・令和3年5月に旭川市業務継続計画の改定を行った。 ・新庁舎の建設工事については令和5年11月共用開始に向け必要な検討を行った。	・令和4年6月に旭川市業務継続計画の改定を行った。 ・新庁舎の建設工事については、令和5年11月の共用開始に向け予定どおりに進んでおり、各種情報システムの移設等について検討した。	・令和5年11月に新庁舎の供用を開始した。各種情報システムの移設についても滞りなく実施した。	・令和6年6月に旭川市業務継続計画の改定を行った。	・備蓄倉庫整備について検討を行った。	完了(削除) 水害リスクに対応した総合庁舎の新築、業務継続計画の改定を行ったため
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認。	・水防連絡協議会や研修会等で方法等の確認を実施した。	・旭川開発建設部に排水ポンプ車の要請方法等を確認した。	・旭川開発建設部に排水ポンプ車の要請方法等を確認した。	・旭川開発建設部に排水ポンプ車の要請方法等を確認した。	・旭川開発建設部に排水ポンプ車の要請方法等を確認した。	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・市所有の排水ポンプの操作訓練を実施。 ・旭川市災害対策本部訓練で実施。 ・水道局管理の施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について、設置運転訓練を実施。	・排水ポンプ車と常設排水ポンプ施設の操作訓練を実施。 ・引き続き水道局管理の施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について、設置運転訓練を実施。	・排水ポンプ車と常設排水ポンプ施設の操作訓練を実施した。 ・水道局管理の施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について、設置運転訓練を実施した。	・排水ポンプ車と常設排水ポンプ施設の操作訓練を実施した。 ・水道局管理施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について設置運転訓練を実施した。	・排水ポンプ車と常設排水ポンプ施設の操作訓練を実施した。 ・水道局管理施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について設置運転訓練を実施した。	・排水ポンプ車と常設排水ポンプ施設の操作訓練を実施した。 ・水道局管理施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について設置運転訓練を実施した。	・排水ポンプ車と常設排水ポンプ施設の操作訓練を実施した。 ・水道局管理施設において、排水ポンプ車及びポンプパッケージ等の機材について設置運転訓練を実施した。	引き続き実施
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。 ・水道局において内水排除作業箇所の確認、一部水位計を設置。	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。 ・水道局において引き続き内水排除作業箇所の確認及び一部水位計を設置。	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。 ・水道局において内水排除作業箇所の確認した。	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。 ・水道局において、内水排除作業箇所の確認及び一部水位計を設置予定している。	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。 ・水道局において内水排除作業箇所を確認した。	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。 ・水道局において内水排除作業箇所を確認した。	・内水被害常襲箇所の把握、対応時の作業手順の確認、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。 ・水道局において内水排除作業箇所を確認した。	引き続き実施

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	タイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施	関係機関と協議しつつ、タイムラインの改善を継続実施。	関係機関と協議しつつ、タイムラインの改善を継続実施。	関係機関と協議しつつ、タイムラインの改善を継続実施。	関係機関と協議しつつ、タイムラインの改善を継続実施。	関係機関と協議しつつ、タイムラインの改善を継続実施。	関係機関と協議しつつ、タイムラインの改善を継続実施。	引き続き実施
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイトimeline作成のサポートを充実させる	B'	-	先行事例として北斗・北成地区を対象に作成サポートを検討。	コロナ禍により地域活動への参画が困難であったため、次年度以降の検討を継続する。	地域活動への参画を少しずつ再開できたため、作成に向けた機運の高揚を図った。	作成に向けた機運の高揚を図った。	広報誌に掲載し、作成に向けた機運の高揚を図った。	住民に対する防災講習及び1日防災学校等において重要性を解説。	引き続き実施
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	該当無し。	該当無し(今後、該当施設が確認された場合は、避難確保計画策定の支援を実施する。)	該当無し(今後、該当施設が確認された場合は、避難確保計画策定の支援を実施する。)	該当無し(今後、該当施設が確認された場合は、避難確保計画策定の支援を実施する。)	該当無し(今後、該当施設が確認された場合は、避難確保計画策定の支援を実施する。)	該当無し(今後、該当施設が確認された場合は、避難確保計画策定の支援を実施する。)	該当無し(今後、該当施設が確認された場合は、避難確保計画策定の支援を実施する。)	完了(逐次見直し)
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。	関係者との調整により、避難行動要支援者名簿の更新等を継続する。	関係者との調整により、避難行動要支援者名簿の更新等を継続する。	関係者との調整により、避難行動要支援者名簿の更新等を継続する。	関係者との調整により、避難行動要支援者名簿の更新等を継続する。	関係者との調整により、避難行動要支援者名簿の更新等を継続する。	引き続き実施
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	防災協定先の自治体との間で広域避難連携の必要性について共有	有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)	検討を継続する。	検討を継続する。	検討を継続する。	検討を継続する。	検討を継続する。	引き続き実施
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	ホームページ、SNS(Facebook、Twitter、LINE)、防災無線を整備した。	各種SNS並びに防災無線の戸別受信機を活用した情報発信の定着。	定時放送を継続し、情報発信の定着に努める。	定時放送を継続し、情報発信の定着に努める。	定時放送を継続し、情報発信の定着に努める。	定時放送を継続し、情報発信の定着に努める。	定時放送を継続し、情報発信の定着に努める。	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年11月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	検討を継続する。	検討を継続する。	検討を継続する。	検討を継続する。	検討を継続する。	中小河川の浸水想定区域の指定を踏まえたハザードマップを作成し、R8年3月以降に住民に配布を予定。(ホームページにも掲載)	完了(逐次見直し)
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるとまごハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	まるとまごハザードマップの作成を検討。	まるとまごハザードマップの作成を検討。	検討を継続する。	検討を継続する。	検討を継続する。	検討を継続する。	検討を継続する。		引き続き検討
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	小学生親子を対象とした防災イベントを実施。	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。	出前講座の実施を継続する。	出前講座の実施を継続する。	出前講座の実施を継続する。	出前講座の実施を継続する。	出前講座の実施を継続する。		引き続き実施
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	地域防災力向上セミナーを開催。	①地域防災力向上セミナーを開催 ②関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。	コロナ禍でセミナーは実施できなかったため、次年度以降のあり方を検討する。	3地区合同のDIG訓練を実施した。	各地区で避難所運営訓練、防災研修を実施。	各地区で避難所運営訓練、防災研修を実施。	各地区で避難所運営訓練、防災研修を実施。	各地区で避難所運営訓練、防災研修を実施。 石狩川水系忠別川総合水防演習を実施	引き続き実施
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	住民の水防災意識啓発のための広報活動を実施。	住民の水防災意識啓発のための広報活動を実施。	広報紙に啓発のための特集記事を掲載した。	広報紙に啓発のための特集記事を掲載した。	広報紙に啓発のための特集記事を掲載した。	広報紙に啓発のための特集記事を掲載した。	広報紙に啓発のための特集記事を掲載した。		引き続き実施
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	対象外となっている地区を把握した。	対象外となっている地区(河川)について、関係機関及び地域住民との情報共有を行う。	情報共有の方法等について検討する。	情報共有の方法等について検討する。	情報共有の方法等について検討する。	情報共有の方法等について検討する。	情報共有の方法等について検討する。		引き続き検討

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。	コロナ禍で実施できなかったため、次年度以降のあり方を検討する。	コロナ禍で実施できなかったため、次年度以降のあり方を検討する。	次年度以降のあり方を検討する。	次年度以降実施を検討する。	次年度以降実施を検討する。	引き続き検討
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。	関係機関の研修に参加した。	関係機関の研修に参加した。	関係機関の研修に参加した。	関係機関の研修に参加した。	関係機関の研修に参加した。	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。	情報共有を行った。	情報共有を行った。	情報共有を行った。	情報共有を行った。	情報共有を行った。	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	広報誌でPR実施。	広報誌でPR実施。	広報誌でPRを実施した。	広報誌でPRを実施した。	広報誌でPRを実施した。	広報誌でPRを実施した。	広報誌でPRを実施した。	引き続き実施
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	広報誌でPR実施。	広報誌でPR実施。	広報誌でPRを実施した。	広報誌でPRを実施した。	広報誌でPRを実施した。	広報誌でPRを実施した。	広報誌でPRを実施した。	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	オサラッペ川の浸水想定区域図(想定最大規模)より点検し、該当施設が無いことを確認済。	オサラッペ川の浸水想定区域図(想定最大規模)より点検し、該当施設が無いことを確認済。	該当施設が無いことを確認済み。	該当施設が無いことを確認済み。	該当施設が無いことを確認済み。	該当施設が無いことを確認済み。	該当施設が無いことを確認済み。	完了(削除)
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。	コロナ禍で実施できなかったため、次年度以降のあり方を検討する。	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、排水ポンプの借用について確認した。	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、排水ポンプの借用について確認した。	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、排水ポンプの借用について確認した。	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、排水ポンプの借用について確認した。	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者の連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	①関係者(旭川河川事務所)と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	コロナ禍で実施できなかったため、次年度以降のあり方を検討する。	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、排水ポンプの操作について確認した。	悪天候により中止	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、排水ポンプの操作について確認した。	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、排水ポンプの操作について確認した。	引き続き実施
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	釜場の整備、内水常襲箇所の把握を行った。	内水常襲箇所の状況把握を実施予定。	コロナ禍で実施できなかったため、次年度以降のあり方を検討する。	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、内水常襲箇所の状況把握、釜場の現地確認を行った。	悪天候により中止	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、排水ポンプの操作について確認した。また、釜場等の点検、排水改善策について協議を実施した。	旭川河川事務所に協力いただき、町水防訓練において、排水ポンプの操作について確認した。また、釜場等の点検、排水改善策について協議を実施した。	引き続き実施

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH29年度に作成済み。	①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。	①必要に応じて見直し予定 ②訓練内容を検討	①必要に応じて見直し予定 ②訓練内容を検討	①旭川開発建設部が策定した流域タイムラインをもとに精度向上に向けて検討内容を精査した ②令和5年4月改訂版デジタル洪水ハザードマップに基づき訓練内容を検討	①旭川開発建設部が策定した流域タイムラインをもとに精度向上に向けて検討内容を継続精査した ②令和5年4月改訂版デジタル洪水ハザードマップに基づき訓練内容を検討し、赤十字奉仕団東神楽支部及び民生委員にハザードマップ研修会を実施	①必要に応じて見直し予定 ②訓練内容を検討	引き続き検討・実施
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R3年度は住民による作成サポート計画を立案予定。 ②R4年度は町民を対象に作成サポートを実施予定。 ③R5年度以降は計画に基づきサポートを地区実施予定。	計画内容を検討	計画内容を検討	町域全域のデジタルマップ及びデジタル道路台帳を作成したため、各種デジタルコンテンツデータ等を利活用した作成のサポート計画を検討	①町域全域のデジタルマップ及びデジタル道路台帳等による各種デジタルコンテンツデータ等を利活用した洪水ハザードマップ避難経路検討が実施できる3次元GISシステムを運用した ②マイタイムライン作成へのサポート計画を継続検討	計画内容を検討	引き続き検討・実施
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	-	-	-	-	-	-	-	-
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設において地域防災計画に記載されていることを確認した。	①R4年度までに地域防災計画を見直し、想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を記載予定。 ②令和5年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。	地域防災計画改定案を作成中	地域防災計画改定案を作成中	地域防災計画改定案を作成中	①地域防災計画改定案を作成中 ②赤十字奉仕団東神楽支部及び民生委員にハザードマップ研修会を実施	地域防災計画改定案を作成中	引き続き検討・実施
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	①R3年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R4年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)	有効な手段の検討及び関係者等との調整を検討	有効な手段の検討及び関係者等との調整を検討	避難行動要支援者名簿は作成済(適時時点修正)、個別避難計画は作成中	避難行動要支援者名簿は作成済(適時時点修正)、個別避難計画は継続作成中	有効な手段の検討及び関係者等との調整を検討	引き続き検討・実施
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する協定を検討した。	①R3年度は有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)	①近隣自治体と意見交換を検討	①近隣自治体と意見交換を検討	①近隣自治体と意見交換を検討	①近隣自治体と意見交換を検討 ②想定最大規模浸水区域外に複合施設「はなのわ」(役場庁舎を含む)供用開始	①近隣自治体と意見交換を検討	引き続き検討・実施
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・デジタル防災無線導入事業を実施 ・ホームページの多言語化を実施	①様々な情報伝達手段の多言語化を実施予定。	実施方法について検討	実施方法について検討	実施方法について検討	実施方法について検討	実施方法について検討	引き続き検討・実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、H31年3月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	ハザードマップの更新準備	①新たな警戒レベル・防災情報を掲載、時点修正を実施し、洪水ハザードマップを令和5年3月策定公表・全世帯配布予定	令和5年4月改訂洪水ハザードマップを策定公表し、全世帯等に配布した	洪水ハザードマップを利用した出前講座・研修会を実施した	新しい防災気象情報と警戒レベルに対応したハザードマップの更新準備	引き続き検討・実施	
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるとまごハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるとまごハザードマップ作成済。	①必要に応じてまるとまごハザードマップの更新を検討する。 ②R4年度は3Dハザードマップを作成予定。	ハザードマップの更新準備	①まるとまごハザードマップの更新は検討中 ②洪水ハザードマップを令和5年3月策定公表・全世帯配布予定、3Dハザードマップは令和4年度システム実装中	①まるとまごハザードマップの更新は検討中 ②洪水ハザードマップを令和5年4月改訂版公表を全世帯配布済、3Dハザードマップはシステム実装中	①まるとまごハザードマップの更新は検討中 ②町民等に配布した洪水ハザードマップ及び3Dハザードマップによる出前講座・研修会を実施した	①まるとまごハザードマップの更新は検討中 ②洪水ハザードマップを令和5年4月改訂版公表を全世帯配布済、3Dハザードマップはシステム実装済み	引き続き実施	
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・関係機関と連携し、出前講座を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を教育委員会に提供、説明を予定。	①町内小学校1校を対象に1日防災学校を実施	①町内小学校1校を対象に1日防災学校を実施 ②町内小学校3校合同宿泊研修において防災教育プログラムを実施	①町内小学校1校を対象に1日防災学校を実施 ②町内小学校3校合同宿泊研修において防災教育プログラムを実施	①町内小学校1校を対象に1日防災学校を実施 ②町内小学校3校合同宿泊研修において防災教育プログラムを実施	①町内小学校1校を対象に1日防災学校を実施 ②町内小学校3校合同宿泊研修において防災教育プログラムを実施	引き続き実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・関係機関と連携し、出前講座を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②防災セミナーを開催予定。 ③水害避難訓練を開催予定。	①～③実施内容を検討	①～③実施内容を検討	①～③実施内容を検討	①～③実施内容を検討 出前講座・研修会を実施した	①～③実施内容を検討 石狩川水系忠別川総合水防演習を実施	引き続き検討・実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・ホームページに掲載した。	①ホームページに掲載予定。	掲載内容を検討	掲載内容を検討	掲載内容を検討	掲載内容を検討	掲載内容を検討	引き続き検討・実施	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	①氾濫計算を実施し、ハザードマップを更新する予定。	ハザードマップの更新準備	新たな警戒レベル・防災情報を掲載、時点修正を実施し、洪水ハザードマップを令和5年3月策定公表・全世帯配布予定	新たな警戒レベル・防災情報を掲載、時点修正を実施し、洪水ハザードマップを令和5年4月改訂版公表を行い、全世帯配布済み	引き続き、調査把握をする	新しい防災気象情報と警戒レベルに対応したハザードマップの更新準備	引き続き検討・実施	

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	①毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。	未実施	次年度以降の実施に向けて検討	未実施 次年度以降の実施に向けて検討	未実施 次年度以降の実施に向けて検討	未実施 次年度以降の実施に向けて検討	引き続き検討・実施
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	①石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関の研修・勉強会に参加予定。	①・②不参加	①リモート・オンライン研修に参加 ②町保健福祉部署の職員を対象に研修会を開催(講師)上川総合振興局地域政策課危機対策推進幹	①リモート研修に参加 ②関係機関の研修・勉強会に参加	①リモート研修に参加 ②関係機関の研修・勉強会に参加	①不参加 ②関係機関の研修・勉強会に参加	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。	引き続き情報共有を実施	引き続き情報共有を実施	引き続き情報共有を実施	引き続き情報共有を実施	引き続き情報共有を実施	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	募集内容を検討	大雪消防組合と連携し、広報誌で団員募集実施	大雪消防組合と連携し、広報誌で団員募集を実施	大雪消防組合と連携し、広報誌で団員募集を実施	大雪消防組合と連携し、広報誌で団員募集を実施	引き続き実施
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	ホームページ等で随時募集を実施	ホームページ等で随時募集を実施	ホームページ等で随時募集を実施	ホームページ等で随時募集を実施	ホームページ等で随時募集を実施	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施した。	①重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を引き続き実施予定。	機能維持の検討を継続実施	機能維持の検討を継続実施	機能維持の検討を継続実施	機能維持の検討を継続実施	機能維持の検討を継続実施	引き続き検討・実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。 ・小型排水ポンプ機器を整備した。	①減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。	令和4年度実施予定	引き続き、平時から関係機関との要請・連絡方法等を確認	引き続き、平時から関係機関との要請・連絡方法等を確認	引き続き、平時から関係機関との要請・連絡方法等を確認	引き続き、平時から関係機関との要請・連絡方法等を確認	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・小型排水ポンプ機器を整備した。	①小型排水ポンプ機器の管理・操作訓練を実施予定。	令和4年度実施予定	小型排水ポンプ・発電機のエンジン始動、バッテリー点検の確認を実施	小型排水ポンプ・発電機のエンジン始動、バッテリー点検の確認を実施	可搬式発電機付き投光器・小型排水ポンプ・発電機のエンジン始動、バッテリー点検の確認を実施	小型排水ポンプ・発電機のエンジン始動、バッテリー点検の確認を実施	引き続き実施
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・排水作業準備計画などにより、内水常襲箇所を把握した。	①R3年度に排水作業準備計画書の更新予定。 ②内水常襲箇所の状況把握を実施予定。	①更新内容を検討 ②実施方法について検討	①更新内容を検討 ②実施方法について検討	①更新内容を検討 ②実施方法について検討 忠別川(旭川河川事務所)の樋門等操作委託を令和6年度に受託予定	①更新内容を検討 ②北海道開発局長と町域の忠別川樋門7箇所の観測等業務委託協定書を令和6年4月1日に締結し、旭川開発建設部長から委託業務を受託	①更新内容を検討 ②忠別川樋門7箇所については観測業務を委託により実施	引き続き検討・実施

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあつた問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	タイムラインはH29年度に作成済み	タイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施	未実施のため引き続き継続課題	旭川開発建設部と連携した流域タイムラインとの整合により精度を向上	4年度末に作成した流域タイムラインを関係機関との連携や避難指示発令時期の判断に活用し、実効性の更なる向上を図る予定だったが、大雨警報は数回発令されたもののタイムラインを活用するに至らなかった。	7月24日の豪雨に際し、当麻川タイムラインを活用して、災害対策本部の立ち上げ、避難指示の発令に活用した。	令和6年7月の豪雨対応を教訓としたタイムラインの精度向上及びタイムラインに連動した職員の初動対応を具体化した。	引き続き実施
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	マイタイムラインの作成サポート計画に係る立案検討の実施	未実施のため引き続き継続課題	コロナ禍により地域活動への参画が困難であったため未実施。次年度以降のサポートの検討を継続する。	4年度後半以降、地域活動への参画を少しずつ再開できたため、町が作成したタイムラインを解説し、作成に向けた機運の高揚を図った。	行政区への防災教育において、町が作成したタイムラインを解説し、作成に向けた機運の高揚を図った。	引きつづき、行政区への防災教育において、町が作成したタイムラインを解説し、作成に向けた機運の高揚を図った。	引き続き実施
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	避難行動要支援者に対する個別計画の策定及びそれに基づく避難訓練の実施内容、実施回数の検討	避難行動要支援者に対する個別計画の策定及びそれに基づく避難訓練の実施内容、実施回数の検討	要支援者の個別計画に係るデータの収集	消防団に支援を依頼するとともに消防署を通じた連絡体制を検討(その他民生委員による支援を依頼)	民生委員に個別避難計画の説明・提供を行い、基本となる避難支援体制を確立した。	当麻消防所と個別避難計画の共有、消防所から消防団への連絡・連携等避難支援体制を構築	避難行動要支援者名簿の適時点修正を実施した。	引き続き実施
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	高齢者の確実な避難計画の作成の検討の実施	高齢者の避難計画に係るデータの収集	最優先(独居の高齢者で身体・精神に障害を持つ方)の個別避難計画の策定	4年度に作成した計画を拡大した。(独居にかかわらず高齢者で身体・精神に障害を持つ方の個別避難計画を策定)	個別避難計画は令和5年度に作成済	避難行動要支援者名簿及び個別避難計画は作成済(適時点修正を実施)	引き続き実施
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路策定の検討	近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路策定の検討	広域避難については、未だ未検討だが、避難場所として新しい場所の検討	広域避難については検討の予定なし。洪水ハザードマップ上で浸水の恐れのない避難所の指定とそれに応ずる避難経路の指定を検討	指定避難所を4カ所増加した。地域防災拠点施設を整備し、広域支援の受け入れ態勢の充実を図った。	増加した指定避難所にストープ、発電機等を準備するとともに、空調設備を設置	令和5年度に増加した指定避難所に備えるべき品を計画的に取得した。令和8年度に取得を完了予定	引き続き実施
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	ホームページ、SNS、IP告知端末、有線屋外スピーカーにより情報伝達の実施	情報伝達手段における多言語対応の検討の実施	ホームページ、IP告知端末、有線屋外スピーカーにより情報伝達の実施	ホームページ、IP告知端末、有線屋外スピーカーによる情報伝達手段を確保	ケーブルテレビ網、スマホアプリによる情報伝達の導入を検討するとともに、これにともなうIP告知放送の廃止を検討している。	令和5年度に同じ	2月に公式LINEアプリを追加し、防災情報の伝達手段を追加	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	想定最大規模のハザードマップを作成し、R元年12月に住民に配布(ホームページにも掲載)	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討	確認し、現状では更新箇所なし	令和元年に作成後、改定なし。HPIに掲載しているものの、住民への説明(周知)はコロナ禍により未実施。(令和5年以降の研修実施を計画中)	改定なし。逐次行政区の集会において防災研修としてハザードマップの活用要領を周知している。	令和5年度に同じ	令和5年度に同じ		完了(逐次見直し)
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討	まるごとまちごとハザードマップの作成に係る立案の検討の実施	検討できていない	令和5年以降、洪水ハザードマップの活用について住民に対する研修を予定	同上	同上		洪水ハザードマップの活用について住民に対する研修を実施した。	引き続き実施
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	教育委員会と連携し、効果的な防災教育の実施	教育委員会と連携し、効果的な防災教育の実施	防災教育として、全中学校生徒にハザードマップを用いて講演の実施	10月28日、当麻中学校の1日防災学校において、防災教育(講話)を実施。	今年度未実施 次年度防災学校において教育する。	防災学校の研修・講話は3年に1回となったため、次年度防災教育を実施		防災教育未実施(令和7年度は消防が実施)	引き続き実施
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関と連携し、水防災に関する訓練、講習会の実施の検討	関係機関と連携し、水防災に関する訓練、講習会の実施の検討	実施出来ていないため、引き続き検討	令和5年以降、町内会に対して防災研修を開催予定	行政区の集会において防災研修としてハザードマップの活用要領や町の水防災の現状と対応策等を教育する。	令和4年10月以降、9行政区、5団体に水防災に関する講習を実施	2行政区に水防災に関する講習会を実施(令和4年度以降11行政区) 石狩川水系忠別川総合水防演習を実施		引き続き実施
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	ホームページや広報誌等を活用し、水防災意識啓発の広報活動の実施	ホームページや広報誌等を活用し、水防災意識啓発の広報活動の実施	実施出来ていないため、引き続き検討	実施出来ていないため、引き続き検討	広報誌8月号に9月の防災の日に向けた防災記事を掲載し、防災意識を高揚した。	HPIに一ロメモや台風(前線含む)の接近時はIP告知放送により住民に注意喚起を実施		HPIに一ロメモを更新するとともに、台風(前線含む)の接近時はIP告知放送及び公式LINEにより住民に注意喚起を実施	引き続き実施
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	ハザードマップ空白地での危険箇所の有無の把握	ハザードマップ空白地での危険箇所の有無の把握	実施出来ていないため、引き続き検討	対象外地区の把握を検討する。	対象外地区の把握・対応を検討する。	空白地域に住家がないため、対応の必要はないものと判断		空白地域に住家がないため、対応の必要はないものと判断	完了(削除)

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検の実施	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検の実施	実施出来ていないため、引き続き検討	コロナ禍で実施できなかったため、次年度の共同点検を検討する。	未実施。来年度以降の実施を検討する。	7月24日の豪雨を受け、見直しを実施するとともに、消防、土地改良区と連携した被害を受けたカ所(被害の元となった個所)を点検した。	令和6年度の見直しの伴い、不足する水中ポンプ及び発電機を追加購入した。共同点検は未実施	引き続き実施
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力の向上を図る	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力の向上を図る	参加できていないため今後積極的に参加	豪雨災害対策職員研修、気象防災ワークショップに参加し、対応能力の向上を図った。	市町村防災担当職員を対象のオンライン研修等に積極的に参加し、防災対応力の向上に努めた。	昨年完成した防災備蓄倉庫から避難所への備蓄品の輸送、避難所の開設を行った。	9月1日、避難所開設訓練を実施し、防災対応力の向上を図った。	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る	水防連絡協議会や石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る	引き続き共有を図る	引き続き情報の共有を図る。	旭川大雪圏域連携中核都市圏防災業務担当者会議で資機材や備蓄品の情報を共有した。	令和5年度に同じ	新物資輸送システムの備蓄品情報を最新化した。旭川大雪圏域連携中核都市圏防災業務担当者会議未開催	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集の実施	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集の実施	未実施のため今後検討	募集内容、手段を検討する。	引き続き、募集内容、手段を検討する。	広報誌・HPに募集記事を掲載	広報誌・HPに募集記事を掲載	引き続き実施
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	広報誌等により水防(消防)団員の募集の実施	広報誌等により水防(消防)団員の募集の実施	未実施のため今後検討	未実施のため今後検討	町HPで団員を随時募集している。	同上	同上	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応の検討を実施	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応の検討を実施	浸水想定区域外での防災拠点施設の検討	浸水想定区以外に防災拠点施設の設計を実施	浸水想定区域外に地域防災拠点施設を建設している。(令和6年1月31日建設完了予定)	地域防災拠点施設内の防災備蓄品保管倉庫に行政備蓄品の集約を完了(6月)	浸水想定区域外に地域防災拠点施設を設置し、機能を維持	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う	減災対策部会や研修等において確認・共有を行う	継続して情報収集を行う	引き続き、減災対策部会や研修等において確認する。	引き続き、減災対策部会や研修等において確認する。	7月24日の豪雨後、要請方法を再確認した。	引き続き、減災対策部会や研修等において再確認する。	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	迅速な氾濫水の排水を行うため、町所有の排水ポンプの操作訓練を行う	迅速な氾濫水の排水を行うため、町所有の排水ポンプの操作訓練を行う	未実施のため今後実施検討	操作訓練が未実施のため、来年度以降の実施を検討する。	排水ポンプの操作方法を確認した。現在委託業務で来年度以降、職員による排水ポンプ・発電機の設置を検討する。	排水ポンプの設置・操作は建設協会に依頼して実施	直営で設置・撤去が可能となるよう、令和7年度は撤去(11月6日)を直営で実施した。	引き続き実施
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	内水被害常襲箇所の把握及び排水ポンプ設置箇所、釜場等の整備について検討	内水被害常襲箇所の把握及び排水ポンプ設置箇所、釜場等の整備について検討	未実施のため引き続き検討	内水被害常襲箇所3カ所を把握	氾濫被害常襲箇所に排水ポンプ、発電機を常設(7月~11月)し、内水被害を未然に防止した。(動産総合保険加入)	約50年ぶりに当麻川沿いが被害にあったことにより、排水ポンプ設置カ所を見直し、不足する排水ポンプ、発電機を令和7年度に増加購入を予定	内水被害常襲箇所の把握に伴い、不足する水中ポンプ及び発電機を取得した。	引き続き実施

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・試行運用タイムラインの作成	・見直しを検討予定。 ・毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練の実施を検討する。	検討中	検討中	内容を検討中です	見直しを検討	引き続き検討	引き続き検討
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	・住民による作成サポート計画を立案予定。	検討中	検討中	内容を検討中です	引き続き、住民による作成サポート計画の立案検討	引き続き検討	引き続き検討
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ・避難訓練実施の検討。	・引き続き避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ・避難訓練実施の検討する。	検討中	検討中	内容を検討中です	個別避難計画の作成及び避難訓練実施を検討	引き続き検討	引き続き検討
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	・高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ・避難訓練実施の検討する。	検討中	検討中	内容を検討中です	避難計画の作成及び避難訓練実施を検討	避難行動要支援者台帳の整備中	引き続き実施
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町と広域避難計画について検討する。	・引き続き、近隣市町村と広域避難計画を検討する。	検討中	検討中	内容を検討中です	引き続き広域避難計画を検討	引き続き検討	引き続き検討
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ツイッターなどを整備した。	・ツイッターの多言語化を検討する。	検討中	検討中	内容を検討中です	引き続き検討	引き続き検討	引き続き検討

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、住民に配布した。(ホームページにも掲載)	・ハザードマップの更新予定。 ・毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	検討中	検討中	内容を検討中です	・ハザードマップの更新を検討	引き続き検討	引き続き検討	
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まごまごハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まごまごハザードマップの作成を検討。	・引き続きまごまごハザードマップの作成を検討。	検討中	検討中	内容を検討中です	・ハザードマップの更新を検討	引き続き検討	引き続き検討	
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・防災授業を実施した。	・関係機関と連携し、計画的に防災授業を実施予定。	・R3.12.8及びR3.12.21小学校において防災教室を実施した	・R4.11.4 児童を対象とした防災教室を実施した	・R5.12.6 児童対象防災教室 実施場所 旭川地方気象台 ・R5.12.12 児童対象防災教室 実施場所 比布中央学校体育館	・R6.11.11 児童を対象とした防災教室を実施した	R7.9.5一日防災学校を実施して、全児童生徒が防災にかかわる授業、昼休み集会でも講話を行った。	引き続き実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・北海道の協力により、町職員等を対象とした防災訓練を実施した。	・関係機関と連携し、計画的に町職員及び町民を対象の防災訓練を実施予定。	・R3.11.8 災害対策本部訓練及び防災訓練を実施した	・R4.9.30 災害対策本部訓練実施 ・R4.10.1 町民対象防災研修会実施	地震、洪水及び能登半島地震を教訓として防災訓練を十は及び計画 ・R5.10.13 町職員対象防災訓練 ・R5.11.03 町民対象防災研修会 ・R6.02.05 消防団員対象防災訓練(1/2) ・R6.03.05 消防団員対象防災訓練(2/2)	・未実施のため、次年度の実施を検討	石狩川水系忠別川総合水防演習を実施	引き続き実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・広報誌、ホームページに掲載した。	・引き続き広報誌、ホームページに掲載予定。	・毎月の広報紙に防災の記事を掲載した(防災レンジャー)	・広報紙へ防災関連記事の掲載及び折込チラシにて周知	・広報紙へ防災関連記事を掲載、折込チラシにて周知	・広報紙へ防災関連記事の掲載及び折込チラシにて周知	広報紙へ防災関連記事の掲載を行った。	引き続き実施	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	・氾濫計算を実施し、ハザードマップの見直しを検討する。	検討中	検討中	内容を検討中です	・ハザードマップの見直しを検討	引き続き検討	引き続き検討	

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を検討した。	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。	・検討中	・検討中	・内容を検討中です	・共同点検の実施を検討	引き続き検討	引き続き検討
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・北海道市町村防災力強化専門研修等に参加。 ・水防連絡協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修への参加を検討した	・水防連絡協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修への参加予定	・職員の参加	・職員の参加	・担当職員の参加	・職員の参加	職員の参加	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。	・検討中	・検討中	・内容を検討中です	・情報の共有	情報の共有	引き続き実施
		④広報紙やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報紙等で、消防(水防)団員の募集を実施。	・広報紙等で、引き続き消防(水防)団員募集を実施。	・広報紙で団員募集(消防署より)	・広報紙で団員募集(消防署より)	・広報紙にて水防(消防)団員募集(比布消防署より)	・広報紙で団員募集(消防署より)	広報紙で団員募集(消防署から)	引き続き実施
		⑤広報紙やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報紙等で、消防(水防)団員の募集を実施。	・広報紙等で、引き続き消防(水防)団員募集を実施。	・広報紙で団員募集(消防署より)	・広報紙で団員募集(消防署より)	・広報紙にて水防(消防)団員募集(比布消防署より)	・広報紙で団員募集(消防署より)	広報紙で団員募集(消防署から)	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域内に、町の公共施設等の拠点施設はないことを把握した。	・引き続き想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域内の状況を確認し、町の公共施設等の拠点施設はないことを把握する。	・検討中	・検討中	・内容を検討中です	・引き続き想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域内の状況を確認	引き続き検討	引き続き検討
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行った。	・引き続き、減災対策部会や研修会等で方法等を確認する。	・検討中	・検討中	・内容を検討中です	・引き続き検討	引き続き検討	引き続き検討
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ機器の整備等について検討した。	・迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプユニット等の操作訓練を行う。	・検討中	・検討中	・内容を検討中です	・操作訓練の検討	引き続き検討	引き続き検討
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・旭川開建で緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。	・引き続き、旭川開建で緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施した。	・検討中	・検討中	・内容を検討中です	・内容の検討	引き続き検討	引き続き検討

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目したタイムラインの作成を検討。	・R4年度までに警戒レベルを用いた避難勧告等の発令、伝達に着目したタイムラインを作成予定。 ・作成以降、毎年見直しを実施予定。	・R4年度までに警戒レベルを用いた避難勧告等の発令、伝達に着目したタイムラインの作成に向け、引き続き検討する。	警戒レベルを用いた避難勧告等の発令、伝達に着目したタイムラインの作成に向け、引き続き検討する。	警戒レベルを用いた避難勧告等の発令、伝達に着目したタイムラインの作成に向け、引き続き検討する。	警戒レベルを用いた避難指示等の発令、伝達に着目したタイムラインの作成に向け、引き続き検討する。	・警戒レベルを用いた避難指示等の発令、伝達に着目したタイムラインの作成に向け、引き続き検討する。	引き続き検討
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイトimeline作成のサポートを充実させる	B'	-	・令和3年度は住民による作成サポート計画案を作成予定。	・住民による作成サポート計画案を作成に向けた引き続き検討する。	・住民による作成サポート計画案を作成に向けた引き続き検討する。	・住民による作成サポート計画案を作成に向けた引き続き検討する。	・住民による作成サポート計画案の作成に向け、引き続き検討する。	・住民による作成サポート計画案の作成に向け、引き続き検討する。	引き続き検討
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	-	-	-	-	-	-	-	-
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目した避難行動要支援者に対する支援計画の作成を検討。	・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目した避難行動要支援者に対する支援計画の作成を検討する。	・避難行動要支援者の避難支援体制構築のため、要配慮者利用施設の新規指定に向けて関係者と調整を実施した。	避難行動要支援者の避難支援体制充実のため、特別養護老人ホームいこいの里「あい」を新たに指定福祉避難所として指定した。	避難行動要支援者の避難支援体制充実のため、特別養護老人ホームいこいの里「あい」を新たに指定福祉避難所として指定済。	・避難行動要支援者の避難支援体制充実のため、特別養護老人ホームいこいの里「あい」を新たに指定福祉避難所として指定済。	・避難行動要支援者の避難支援体制充実のため、特別養護老人ホームいこいの里「あい」を新たに指定福祉避難所として指定済。	1施設指定済み
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	・R3年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。	・高齢者の確実な避難計画作成のため、避難行動要支援者名簿を整備した。	・高齢者の確実な避難計画作成のため、避難行動要支援者名簿を整備・更新中。	・避難行動要支援者名簿を基に、個別避難計画を作成中。	・避難行動要支援者名簿を基に、個別避難計画を作成中。	・避難行動要支援者名簿を更新し、個別避難計画を引き続き作成。	引き続き検討
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・広域避難計画の検討。	・引き続き広域避難計画の検討を行う。	・広域避難計画を引き続き検討する。	・広域避難計画を引き続き検討する。	・広域避難計画を引き続き検討する。	・広域避難計画を引き続き検討する。	・広域避難計画を引き続き検討する。	引き続き検討
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・IP告知端末器による情報発信の実施。 ・緊急エリアメールを活用した情報発信の実施。	・FM告知端末器による情報発信の実施。 ・緊急エリアメールを活用した情報発信の実施。	・FM告知端末器による情報発信の実施。 ・FM告知端末器の放送内容をLINE配信。 ・緊急エリアメールを活用した情報発信の実施。	・FM告知端末器による情報発信の実施。 ・FM告知端末器の放送内容をLINE配信。 ・緊急エリアメールを活用した情報発信の実施。	・FM告知端末器による情報発信の実施。 ・FM告知端末器の放送内容をLINE配信。 ・緊急エリアメールを活用した情報発信の実施。	・FM告知端末器による情報発信の実施。 ・FM告知端末器の放送内容をLINE配信。 ・緊急エリアメールを活用した情報発信の実施。	・愛別町アプリ(aiガイド)やFM告知端末、データ放送、各種SNS(LINE)を活用した情報発信の実施。	継続実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップを更新。 ・インバウンドに対応したハザードマップを更新。	・毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	・対法の改正による避難情報の変更について、広報紙に記事を掲載し、ハザードマップの修正箇所貼るシールを全戸配付した。	・更新を検討中。	・更新を検討中。	・更新を検討中。	・転入者へのハザードマップ配付及び地域防災訓練でのハザードマップの説明を実施。	更新について引き続き検討	
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・想定最大規模の洪水ハザードマップとの整合や、インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた、まるごとまちごとハザードマップを更新。	・毎年記載内容を確認し、住民による有効的な活用についても検討を行う。	・対法の改正による避難情報の変更について広報紙や町内配付文書を通じて周知することで、作成・配付から1年経過したハザードマップの活用について再度喚起した。	・出前講座において、ハザードマップの活用方法について住民に説明した。	・防災訓練とともに実施した防災講話会において、ハザードマップの活用方法について住民に説明した。	・防災講話会を実施し、ハザードマップの活用方法について住民に説明した。	・中央地区を対象に防災講話会を実施し、ハザードマップの活用方法について住民に説明した。	継続実施	
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休業の期間があり実施せず。	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。	・新型コロナウイルス感染症の影響による集会等の自粛により、実施せず。	・引き続き、教育委員会、町内小・中学校と連携し、出前講座の実施について検討を行う。	・引き続き、教育委員会、町内小・中学校と連携し、出前講座の実施について検討を行う。	・引き続き、教育委員会、町内小・中学校と連携し、出前講座の実施について検討を行う。	・引き続き、教育委員会、町内小・中学校と連携し、出前講座のメニューとして体制を構築済み。	継続実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・避難訓練及び講習会等は実施せず。	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。	・新型コロナウイルス感染症の影響による集会等の自粛により、実施せず。	・出前講座において、旭川地方気象台の職員を講師に招き、ハザードマップの説明や防災気象情報の利用方法について参加住民に説明した。	・防災訓練とともに実施した防災講話会において、旭川地方気象台の職員を講師に招き、大雨災害や防災気象情報、防災情報の入手について参加住民に説明した。	・防災講話会において、旭川地方気象台の職員を講師に招き、大雨災害や防災気象情報、防災情報の入手について参加住民に説明した。	・防災講話会において、旭川地方気象台の職員を講師に招き、大雨災害や防災気象情報、防災情報の入手について参加住民に説明した。	継続実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段を検討。	・引き続きインバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段を検討。	・インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段を引き続き検討する。	・インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段を引き続き検討する。	・インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段を引き続き検討する。	・インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段を引き続き検討する。	・インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた広報手段の検討。	引き続き検討	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	-	・ハザードマップ作製の対象外となっている地区を把握し、対応について検討する。	・関係機関と連携し、ハザードマップ空白地での危険箇所の有無を把握した。	・令和3年度に対象外地区における危険箇所を把握済。	・令和3年度に対象外地区における危険箇所を把握済。	・令和3年度に対象外地区における危険箇所を把握済。	・令和3年度に対象外地区における危険箇所を把握済。	完了(削除)	

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施。	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。	・新型コロナウイルス感染症の影響による会議等自粛により、共同点検実施せず。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	引き続き検討
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・石狩川上流減災対策部会や石狩川上流域治水協議会の立ち上げに参加し防災対応力向上を図った。	・石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。	・市町村防災担当職員を対象のオンライン研修等に参加し、防災対応力向上を図った。	・市町村防災担当職員を対象のオンライン研修等に参加し、防災対応力向上を図った。	・市町村防災担当職員を対象のオンライン研修等に参加し、防災対応力向上を図った。	・市町村防災担当職員を対象のオンライン研修等に参加し、防災対応力向上を図った。	・市町村防災担当職員を対象のオンライン研修等に参加し、防災対応力向上を図った。	・市町村防災担当職員を対象のオンライン研修等に参加し、防災対応力向上を図った。	継続実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川上流減災対策部会において確認・共有を行った。	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ・減災対策部会等で情報共有を予定。	・石狩川上流減災対策部会において確認・共有を行った。	・減災対策部会等で情報共有を予定。	・減災対策部会等で情報共有を予定。	・減災対策部会等で情報共有を予定。	・減災対策部会等で情報共有を予定。	・石狩川上流減災対策部会において確認・共有を行った。	継続実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報紙やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。	・広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	・広報紙やHP等を活用し、水防協力団体の募集を実施。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	引き続き検討
		⑤広報紙やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報紙やホームページ等で消防団員の募集を実施。	・広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	・広報紙やHP、FM告知端末器による町内放送等を活用し、消防団員の募集を実施。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	・引き続き検討する。	・広報紙やHP、FM告知端末器による町内放送等を活用し、消防団員の募集を実施。	継続実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項												
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討予定。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応について引き続き検討する。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応について引き続き検討する。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応について引き続き検討する。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応について引き続き検討する。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応について引き続き検討する。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応について検討を行った。	引き続き検討
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組												
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組												
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行った。	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。	・引き続き、減災対策部会や研修会等において排水ポンプ車の要請方法等を確認する。	・引き続き、減災対策部会や研修会等において、排水ポンプ車の要請方法等を確認する。	・引き続き、減災対策部会や研修会等において、排水ポンプ車の要請方法等を確認する。	・引き続き、減災対策部会や研修会等において、排水ポンプ車の要請方法等を確認する。	・引き続き、減災対策部会や研修会等において、排水ポンプ車の要請方法等を確認する。	・引き続き、減災対策部会や研修会等において、排水ポンプ車の要請方法等を確認する。	引き続き検討
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水資機材所有団体と連携した排水作業訓練は実施せず。	・排水資機材所有団体と連携して排水作業訓練を実施予定。	・新型コロナウイルス感染症の影響による会議等自粛により、排水資機材所有団体と連携した排水作業訓練は実施せず。	・排水資機材所有団体と連携した排水作業訓練について、引き続き検討する。	・排水資機材所有団体と連携した排水作業訓練について、引き続き検討する。	・排水資機材所有団体と連携した排水作業訓練について、引き続き検討する。	・排水資機材所有団体と連携した排水作業訓練について、引き続き検討する。	・排水資機材所有団体と連携した排水作業訓練について、引き続き検討する。	引き続き検討
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施。	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施予定。	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所について、引き続き検討する。	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所について、引き続き検討する。	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所について、引き続き検討する。	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所について、引き続き検討する。	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所について、引き続き検討する。	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所について、引き続き検討する。	引き続き検討

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・H29年度にタイムライン作成完了。 ・令和元年度に発災直後からの業務分担も含めた業務継続計画を策定	H29年度作成のタイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施予定。		未実施。引き続き検討。	未実施。引き続き検討。	未実施。引き続き検討。	引き続き検討	引き続き検討
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	マイタイムラインのひな形を作成し、地域住民に普及啓発を検討実施する。		マイタイムラインひな形を作成し地域住民に全戸配布を実施。防災イベントの際に、参加者にマイタイムラインの説明と配布を実施。	今年度は出前講座でマイタイムラインの説明。	今年度未実施。来年度以降検討。	今年度未実施。来年度以降検討	引き続き検討
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・避難行動要支援者に対する個別計画の策定及び、それに基づく避難訓練の実施を検討する。 【平成28年度から検討・実施】 平成31年3月に、災害時要支援者リスト表示システム導入	避難行動要支援者にたいする個別計画の策定及び、それに基づく避難訓練の実施を検討する。		未実施。引き続き検討。	R5.3月に個別避難計画の策定。	今年度未実施。来年度以降検討。	今年度、防災訓練の際に配慮者への誘導体制の洗い出しを行った。引き続き検討	引き続き検討
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	避難行動要支援者名簿の更新業務の検討	担当課にて避難行動要支援者の名簿更新	担当課にて避難行動要支援者の名簿更新作業を実施	担当課にて避難行動要支援者の名簿更新作業を実施。 R5.3月に個別避難計画の作成。	今年度未実施。来年度以降検討。	今年度未実施。来年度以降検討	引き続き検討
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・広域避難計画の検討 【平成31年度から検討・実施】	・近隣市町村との具体的な調整を検討予定。		未実施。引き続き検討。	未実施。引き続き検討。	未実施。引き続き検討。	未実施。引き続き検討。	引き続き検討
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・エリアメールについて引き続き活用。 ・防災行政無線(同報系)親局と中継局を設置 ・多言語放送に対応した支局(屋外拡声器)を設置 ・個別受信機の配備(200台)	ツイッターでの情報発信内容の検討。	職員間情報共有のためのチャットツール導入を検討	職員間情報共有のためのチャットツールを導入。	職員間情報共有のためのチャットツールを活用した防災訓練の実施。	今年度未実施。来年度以降検討。	職員間情報共有のためのチャットツールを活用した防災訓練の実施。	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの検討・作成を行う。 ・インバウンドに対応した多言語化を踏まえたハザードマップ等の検討・実施。 ・ハザードマップを他部署に設置	ハザードマップの更なる周知や施設への設置範囲の拡大を検討。	住民課窓口にはザードマップを設置し移住者等に配布	ハザードマップの周知として、防災イベント参加者にハザードマップを配布。	ハザードマップの周知として、防災イベント参加者にハザードマップを配布。	ハザードマップの周知として、防災イベント参加者にハザードマップを配布予定。	ハザードマップの周知として、防災イベント参加者にハザードマップを配布	引き続き実施	
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまことハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・想定最大規模の洪水ハザードマップとの整合や、インバウンドに対応した多言語化等を踏まえた、まるごとまことハザードマップの検討を実施。	まるごとハザードマップの作製・設置を検討実施予定。		未実施。引き続き検討。	未実施。引き続き検討。	未実施。引き続き検討。	未実施。引き続き検討	引き続き検討	
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・関係機関と連携し、防災教育の出前講座を実施した。	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。	上川高校の生徒や先生を対象に防災業務に対する説明を実施(ドローンの活用)	未実施。引き続き実施を検討。	未実施。引き続き実施を検討。	上川中学の児童や先生を対象に防災業務に対する説明を実施(段ボールベット組立等)	上川中学校、子ども園を対象に防災業務に対する説明を実施	引き続き実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・避難時の水防災に関する意識向上のための講習会の実施の検討。 ・自衛隊との合同図上訓練打ち合わせの実施	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。		上川医療センターを対象に出前講座を実施。	上川医療センターを対象に出前講座を実施。	上川医療センターを対象に出前講座を実施	上川医療センターを対象に出前講座を実施 石狩川水系忠別川総合水防演習を実施	引き続き実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・イベント開催時に合わせた啓蒙活動を行う。 ・インバウンドに対応した多言語化を踏まえた広報の検討。	引き続き、インバウンドに対応した多言語化を踏まえた広報の検討。	住民向けに避難警戒レベルに関するチラシを配布	住民向けに水害等の有事の際に役立つ防災ハンドブックを全戸配布	アウトドアイベントの際に住民向けに水害等の有事の際に役立つ防災ハンドブックを配布及びパネルの展示。	今年度未実施。来年度以降検討。	今年度未実施。来年度以降検討	引き続き検討	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F		ハザードマップの空白地についての対応検討予定。		対象外地区の把握を検討	対象外地区の把握を検討。	対象外地区の把握を検討。	対象外地区の把握を検討	引き続き検討	

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前を基本に行われる重要水防箇所等の共同点検を実施する。 【引き続き実施】	毎年出水期前を基本に行われる重要水防箇所等の共同点検を実施検討。		未実施。引き続き検討する。	未実施。引き続き検討する。	未実施。引き続き検討する。	未実施。引き続き検討する。	未実施。引き続き検討する。	引き続き検討
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会等で水害対応力の向上を図る。 ・石狩川流域圏会議による豪雨災害対策職員研修への参加。	石狩川流域圏会議による豪雨災害対策職員研修への参加予定。	各種訓練への参加とデジタルホワイトボードの試験導入	参加できていないので、来年度以降積極的に参加する。	参加できていないので、来年度以降積極的に参加する。	参加できていないので、来年度以降積極的に参加する。	参加できていないので、来年度以降積極的に参加する。	参加できていないので、来年度以降積極的に参加する。	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)等において定期的に情報共有を行う。【引き続き実施】	減災対策協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)等において定期的に情報共有を実施予定。	水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)等において定期的に情報共有を行う。	引き続き情報共有を行う。	引き続き情報共有を行う。	引き続き情報共有を行う。	引き続き情報共有を行う。	引き続き情報共有を行う。	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防協力団体の募集・指定の促進を検討・実施。	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	水防協力団体の募集実施を行う。	水防協力団体の募集実施を行う。	水防協力団体の募集実施を行う。	水防協力団体の募集実施を行う。	水防協力団体の募集実施を行う。	水防協力団体の募集実施を行う。	引き続き実施
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・ポスター等により水防活動の担い手となる、消防団員の募集を促進する。 【引き続き実施】	引き続き、ポスター等により水防活動の担い手となる、消防団員の募集を促進する。	ポスター等により水防活動の担い手となる、消防団員の募集を促進する。	消防団員の募集を促進。	消防団員の募集を促進。	消防団員の募集を促進。	消防団員の募集を促進。	消防団員の募集を促進。	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項												
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設成図情報等を踏まえ、当該施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討する。	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設成図情報等を踏まえ、当該施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討予定。	旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設成図情報等を踏まえ、当該施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討	引き続き検討。	引き続き検討。	引き続き検討。	引き続き検討。	引き続き検討。	引き続き検討
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組												
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組												
		①排水ポンプ車の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等で方法等の確認を実施。	減災対策部会や研修等において確認・共有を行う予定。	減災対策部会や研修等において確認・共有	減災対策部会や研修等において確認・共有	減災対策部会や研修等において確認・共有	減災対策部会や研修等において確認・共有	減災対策部会や研修等において確認・共有	減災対策部会や研修等において確認・共有	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・迅速な氾濫水の排水を行う為、消防署所有の排水ポンプ車等の操作訓練を実施	迅速な氾濫水の排水を行う為、消防署所有の排水ポンプ車等の操作訓練を実施予定。		未実施。今後検討。	未実施。今後検討。	未実施。今後検討。	未実施。今後検討。	未実施。今後検討。	引き続き検討
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施	緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施予定。		未実施。今後検討。	未実施。今後検討。	未実施。今後検討。	未実施。今後検討。	未実施。今後検討。	引き続き検討

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH30年7月に作成済み。	①R3年度(必要に応じて)に見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。	「避難勧告等に関するガイドライン」を基にR3.6見直しを実施	R3の見直し内容の確認を実施 訓練は未実施	訓練は未実施	訓練は未実施	訓練は未実施	引き続き検討
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R3年度は住民による作成サポート計画を立案予定。 ②R3年度は先行事例として西部自治振興区を対象に作成サポートを実施予定。 ③R4年度以降は計画に基づきサポートを全自治振興区で実施予定。	振興区ごとのリスクの整理を実施	第一地区自治振興会で作成サポートを実施した	第二地区自治振興会で作成サポートを実施した。	第三地区自治振興会で作成サポートを実施予定(R7.2.6)	第三地区自治振興会で作成サポートを実施した。	引き続き実施
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設において地域防災計画に記載されていることを確認した。(10カ所) ・そのうち、6カ所の施設について、避難確保計画策定、避難訓練を実施した。	①R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。	全施設策定完了し訓練実施した	全施設避難確保計画に基づき訓練実施した	全施設避難確保計画に基づき訓練実施した	全施設避難確保計画に基づき訓練実施した	全施設避難確保計画に基づき訓練実施した。	引き続き実施
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	①R3年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R4年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)	自治振興会、福祉部局と個別計画について検討実施中	福祉部局と個別計画について内容調整中	福祉部局と個別計画について内容調整中	福祉部局と個別計画について内容調整中	福祉部局と個別計画について内容調整中	引き続き検討
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する協定を検討する。	①R3年度は有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)	R3年度は未実施	R4年度は未実施	R5年度は未実施	旭川大雪圏連携中 樺都市圏を構成する1市8町で実施した意見交換を基に検討を実施	R7年度は未実施	引き続き検討
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ツイッター、防災無線を整備した。	R3年度以降にタブレット端末の貸与を含め、スマートフォン等による情報伝達手段を構築予定。	スマートフォンによる情報伝達手段のR4年度構築に向け整備中	スマートフォンによる情報伝達手段を構築し、R5.4から運用開始	スマートフォンによる情報伝達手段を構築し、4月から運用開始した	継続し端末貸与事業を実施した	継続し端末貸与事業を実施した	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年3月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	必要に応じて更新する	必要に応じて更新する	必要に応じて更新する	記載内容について検討継続した。	必要に応じて更新を検討する	引き続き検討	
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、ハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。	R4年度はまるごとまちごとハザードマップを作成予定。	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討	活用方法を含め検討を継続した	まるごとまちごとハザードマップの作成を検討	引き続き検討	
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・副読本の作成支援した。	R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を教育委員会に提供、説明を予定。	ハザードマップを用いて2小学校で出前授業を実施	2小学校で出前授業を実施	小学校4校、高等学校で出前授業を実施した	小学校3校、高等学校1校での出前授業を実施した	小学校3校(計4回)、中学校2回、特別支援学校1校で出前事業を実施	引き続き実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関と連携し、効率的な訓練の検討	各自治振興会でDIG,HUG訓練を予定。	西部自治振興会とDIG訓練の実施に向けた検討を実施	未実施	第3自治振興会でDIG訓練を実施	各自治振興会等の訓練時に周知活動を行った	各自治振興会等の訓練時での周知活動を実施(中)石狩川水系忠別川総合水防演習を実施	引き続き実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・防災ハザードマップ(冊子)、ホームページに掲載した。	広報誌、ホームページに掲載予定。	気象台から提供を受けた資料を活用し広報実施	都度ホームページに掲載 時季的要素の強いものは、広報誌にも掲載	都度ホームページに掲載 時季的要素の強いものは、広報誌にも掲載	都度ホームページに掲載	都度ホームページに掲載	引き続き実施	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	対象外となっている地区の住民を含め説明会を実施予定。	対象外地区の把握を検討	対象外地区の把握を検討	対象外地区の把握を検討	把握及び対応等について継続して検討を実施	把握及び対応等について継続して検討を実施	引き続き実施	

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を実施。	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を実施。	消防団と共同点検継続	消防団と共同点検継続	消防団と共同点検継続	消防団との共同点検を継続実施	消防団との共同点検を継続実施	引き続き実施
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	①石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。	水防技術講習会受講	石狩川流域圏会議や気象台主催のワークショップ等に参加し、防災対応力向上を図った。	減災対策部会に参加し、水防に関する取組を確認し、理解を深めることが出来た。	各種研修会等への参加・流域治水、減災対策協議会その他、関係機関主催講習会等	各種研修会等への参加・流域治水、減災対策協議会その他、関係機関主催講習会等	引き続き参加予定
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。	①石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。	・石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。	旭川大雪圏域連携中核都市圏防災業務担当者会議で資機材や備蓄品の共有を図った。	旭川大雪圏域連携中核都市圏防災業務担当者会議で資機材や備蓄品の共有を図った。	大規模土砂災害想定箇所について上空からの現状確認、調査へ帯同した	石狩川流域治水・減災対策協議会での情報共有を実施した	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・大雪消防組合と連携し、広報誌で水防協力団体の情報提供を図る。	・大雪消防組合と連携し、広報誌で水防協力団体の情報提供を図る。	大雪消防組合と連携広報誌で水防協力団体の情報提供を実施	大雪消防組合と連携広報誌で水防協力団体の情報提供を実施	大雪消防組合と連携広報誌で水防協力団体の情報提供を実施	大雪消防組合と連携し広報誌にて水防協力団体の情報提供を継続した	大雪消防組合と連携し広報誌にて水防協力団体の情報提供を実施	引き続き実施
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・大雪消防組合と連携し、広報誌を利用し水防団の募集を図る。	・大雪消防組合と連携し、広報誌を利用し水防団の募集を図る。	大雪消防組合と連携し、広報誌で団員募集実施	大雪消防組合と連携し、広報誌で団員募集実施	大雪消防組合と連携し、広報誌で団員募集実施	大雪消防組合と連携し、広報誌で団員募集を実施した	大雪消防組合と連携し、広報誌で団員募集を実施	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討する。	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討する。	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討する。	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討する。	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討する。	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施した	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討	引き続き検討継続
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会等にて排水ポンプ車の要請方法を再確認した	減災対策部会等にて排水ポンプ車の要請方法を確認した	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・自治振興会及び大雪消防組合と連携し排水ポンプによる操作訓練を実施。	・自治振興会及び大雪消防組合と連携し排水ポンプによる操作訓練を実施予定。	操作訓練未実施。来年度以降実施検討	操作訓練未実施。来年度以降実施検討	操作訓練未実施。来年度以降実施検討	操作訓練は未実施し中	消防(水防)団訓練への参加協働実施に向け検討を実施	引き続き検討
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・排水作業準備計画などにより、内水常襲箇所を把握した。	R3年度にため池ハザードマップを作成予定。	ため池ハザードマップを作成住民説明会開催	ため池ハザードマップを公開予定	ため池ハザードマップを公開予定	ため池ハザードマップを公開予定	被害想定箇所の把握を開始すると共にため池ハザードマップへの反映、公開へ調整	引き続き検討

○概ね5年で実施する取組(石狩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・侵食対策 ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

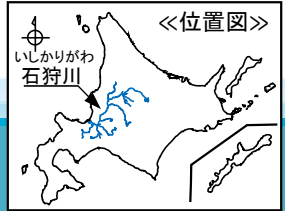
項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■情報伝達、避難計画等に関する事項												
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH29年に作成済み。	・必要に応じて見直しを実施予定。	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載	引き続き実施
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	・令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてマイ・タイムラインを掲載	・令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を行う	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を行う	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を行う	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を行う	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を行う	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を行う	令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイムラインを掲載し、普及啓発を行う	引き続き実施
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N									
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の洪水想定区域内の要配慮者利用施設を確認した。	・R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。	要配慮者利用施設において避難確保計画策定	避難確保計画をもとに体制の構築等の実施	・避難確保計画をもとに体制の構築等の実施	・避難確保計画をもとに体制の構築等の実施	・避難確保計画をもとに体制の構築等の実施	・避難確保計画をもとに体制の構築等及び避難訓練の実施	引き続き実施
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・避難行動要支援者名簿の作成	・毎年、避難行動要支援者名簿の更新	・避難行動要支援者に対する個別計画の作成を進めていく。 ・避難行動要支援者名簿の毎月更新。	・避難行動要支援者に対する個別計画の作成を進めていく。 ・避難行動要支援者名簿の毎月更新。	・避難行動要支援者に対する個別計画の作成を進めていく。 ・避難行動要支援者名簿の毎月更新。	・避難行動要支援者に対する個別計画の作成を進めていく。 ・避難行動要支援者名簿の毎月更新。	・避難行動要支援者に対する個別計画の作成を進めていく。 ・避難行動要支援者名簿の毎月更新。	・避難行動要支援者に対する個別避難計画の作成を進めていく。 ・避難行動要支援者名簿の毎月更新。	引き続き実施
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K		・その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会で議論を踏まえる)	広域避難について検討中	広域避難について検討中	・広域避難について検討中	・広域避難について検討中	・広域避難について検討中	・広域避難について検討中	引き続き実施
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・LINEを活用した美瑛町公式LINEの運用を開始	・美瑛町公式LINEの普及啓発を行う	町HP、防災行政無線、公式LINEアカウントを用いて、気象情報などを発信	町HP、防災行政無線、公式LINEアカウントを用いて、気象情報などを発信	・町HP、防災行政無線、公式LINEアカウントを用いて、気象情報などを発信	・町HP、防災行政無線、公式LINEアカウントを用いて、気象情報などを発信	・町HP、防災行政無線、公式LINEアカウントを用いて、気象情報などを発信	・町HP、防災行政無線、公式LINEアカウントを用いて、気象情報などを発信 ・令和5年より、避難指示における英語を併用開始、その他の多言語化対応も実施	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等汎濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを令和2年8月に更新し、全戸配布した。	・毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	令和2年に更新し、HP等で周知	令和2年に更新し、HP等で周知	令和2年に更新し、HP等で周知	令和2年に更新し、HP等で周知	令和2年に更新し、HP等で周知	令和2年に更新し、HP等で周知	引き続き実施
		③想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。	・令和4年度まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。 ・随時、ハザードマップの説明会を実施予定	まるごとまちごとハザードマップについては、令和5年度に向けて検討	まるごとまちごとハザードマップについては、令和5年度に向けて検討	・まるごとまちごとハザードマップについては、今後検討予定	・まるごとまちごとハザードマップについては、今後検討予定	・まるごとまちごとハザードマップについては、今後検討予定	・まるごとまちごとハザードマップについては、今後検討予定	実施の可否を検討
		④小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・防災教室を実施。	・防災教室を実施。	避難訓練にあわせて防災研修会を開催	町内小中高学校計4校に防災研修会を開催	・町内(小中高)学校計6校に防災研修会を開催	・町内(小中高)学校計6校に防災研修会を開催	・町内(小中高)学校計6校に防災研修会を開催	・町内(小中高)学校計6校に防災研修会を開催	引き続き実施
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・防災教室を実施。	・防災教室を実施。	町内会に対しての防災研修会を開催	防災の日の9月に防災教室を開催	・10月に防災教室を開催	・10月に防災教室を開催	・10月に防災教室を開催	・8月に町主催のイベントに合わせて防災教室を開催 ・石狩川水系忠別川総合水防演習を実施	引き続き実施
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・防災に関する情報を随時、広報に掲載した。	・防災に関する情報を随時、広報に掲載する。	・防災に関する情報を毎月発行広報誌に掲載。	・防災に関する情報を毎月発行広報誌に掲載。	・防災に関する情報を毎月発行広報誌に掲載。	・防災に関する情報を毎月発行広報誌に掲載。	・防災に関する情報を毎月発行広報誌に掲載。	・防災に関する情報を毎月発行広報誌に掲載。	引き続き実施
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	・対象外となっている地区を対応を検討する。	・対象外となっている地区を対応を検討する。	・対象外となっている地区を対応を検討する。	・ハザードマップ対象外であっても被災する可能性があるため、ハザードマップ対象地区の方と同様に、町内会等で防災講座を行った	・ハザードマップ対象外であっても被災する可能性があるため、ハザードマップ対象地区の方と同様に、町内会等で防災講座を行った	・ハザードマップ対象外であっても被災する可能性があるため、ハザードマップ対象地区の方と同様に、町内会等で防災講座を行った	・ハザードマップ対象外であっても被災する可能性があるため、ハザードマップ対象地区の方と同様に、町内会等で防災講座を行った	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・町内にある水門(18箇所)の点検、操作を消防団へ委託。	・町内にある水門(18箇所)の点検、操作を消防団へ委託。	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	引き続き実施
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災力の向上を図った。	・減災対策協議会や、石狩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加し、防災力の向上を図る。	・水防連絡協議会に参加し、防災対応力の向上を図った。	・水防連絡協議会に参加し、防災対応力の向上を図った。	・水防連絡協議会に参加し、防災対応力の向上を図った。	・水防連絡協議会に参加し、防災対応力の向上を図った。	・水防連絡協議会に参加し、防災対応力の向上を図った。	・水防連絡協議会に参加し、防災対応力の向上を図った。	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図った。	・減災対策協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。	・水防連絡協議会、石狩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を図る。	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・消防団の随時募集に努めた。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	引き続き実施
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・消防団の随時募集に努めた。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	・消防団の随時募集に努める。	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項												
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・引き続き効果的な対応を検討した。	・引き続き効果的な対応を検討する。	・効果的な対応を検討する。	・効果的な対応を検討する。	・効果的な対応を検討する。	・効果的な対応を検討する。	・効果的な対応を検討する。	・効果的な対応を検討する。	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組												
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組												
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・引き続き、水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う。	・引き続き、減災対策協議会や研修等において確認・共有を行う。	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う。	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う。	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う。	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う。	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う。	・水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う。	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・各消防団と共同で、必要に応じて訓練を実施した。	・関係者(JA、消防団、建設業協会)と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	・消防団と共同で、必要に応じて訓練を実施。	・消防団と共同で、必要に応じて訓練を実施。	・消防団と共同で、必要に応じて訓練を実施。	・消防団と共同で、必要に応じて訓練を実施。	・消防団と共同で、必要に応じて訓練を実施。	・消防団と共同で、必要に応じて訓練を実施。	引き続き実施
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・実施なし	・内水被害想定箇所の情把握を実施	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	・毎月2回の樋門点検を実施し、不備等があった場合は消防団内で共有を行っている	引き続き実施

2 令和7年度減災対策の取組事例

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部ほか)



■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組～豪雨災害対策職員研修～

■石狩川上流減災対策委員会において策定した、減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、市町村防災担当者を対象に「石狩川流域圏・天塩川流域圏 豪雨災害対策職員研修」を実施した。

■研修は北海道大学高橋客員教授、北海道開発局、北海道、気象台が講師となり作成した動画をオンラインで視聴するeラーニング研修と、対面による危機管理演習の二部構成で実施した。

<実施概要>

主催者：石狩川流域圏会議(幹事恵庭市)、天塩川治水促進期成会(幹事士別市)

参加機関：石狩川流域自治体、天塩川流域自治体、札幌建設管理部、札幌開発建設部、旭川開発建設部、留萌開発建設部

参加人数：102名(石狩川流域自治体)、14名(天塩川流域自治体)

実施日・内容：

【eラーニング】令和7年7月 1日(火)～29日(火)

コース	講座(動画)	講師等
1. 講話・研修	1.豪雨災害時の対応	北海道大学客員教授(元北海道局局長) 高橋季承
	2.北海道の防災体制等について	北海道総務部危機対策局 危機対策課 災害対策係 主査 三嶋 渉
	3.防災気象情報の基礎知識	札幌管区気象台 気象防災部予報課 予報官 水上威仁
	4.防災に関する基礎知識	北海道開発局 事業振興部防災課 上席専門官(防災対策) 山中誠也
	5.河川情報に関する基礎知識	北海道開発局 建設部河川管理課 水災害予報専門官 渡辺浩司
	6.PCを利用した気象情報の利用	札幌管区気象台 気象防災部予報課 水害対策気象官 齋藤千秋
	7.PCを利用した河川情報の利用	札幌開発建設部 河川整備保全課 洪水予報スタッフ 治水専門官 佐藤裕介
	8.災害復旧の概要	北海道開発局 建設部河川工事課 河川技術対策官 吉田裕敏

【危機管理演習】令和7年7月31日(木) [天塩川] / 令和7年7月28日(月) [石狩川]

項目	内容	天塩川流域圏 担当者等	石狩川流域圏 担当者等
1. 開会		士別市 総務部総務課 主幹 杉本 賢征	恵庭市 建設部土木課 治水・公園担当主査 渡辺 一雄
2. 主催者挨拶		士別市 市長 渡辺 英次	恵庭市 市長 原田 裕
3. 演習	演習説明、グループ内討議、発表、講評	一般財団法人 石狩川振興財団 高橋季承 高橋慶久	一般財団法人 石狩川振興財団 高橋季承 高橋慶久
4. 閉会		士別市 総務部総務課 主幹 杉本 賢征	恵庭市 建設部土木課 治水・公園担当主査 渡辺 一雄

<実施状況> eラーニング動画

令和7年度 石狩川流域圏豪雨災害対策職員研修

防災気象情報の基礎知識

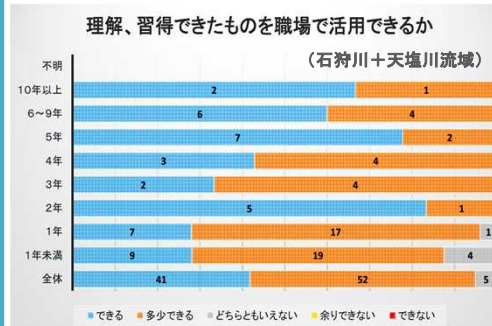
- 防災気象情報の役割
- 防災気象情報とその効果的な利用
- 気象庁が発する防災気象情報
 - 早期注意情報(警報級の可能性)
 - 大雨の状況を面的に把握するための情報
 - 警報・注意報
 - 土砂災害警戒情報・指定河川洪水予報
 - 大雨特別警報
- キキクル(危険度分布)の活用

令和7年7月1日～7月22日
札幌管区気象台

危機管理演習



<アンケート結果・参加状況>



- ・研修は、実務を意識した内容となっており参加者からは好評であった。
- ・eラーニングは、時間的制約を少なくでき多くの参加が期待できること、アンケートでも好評であることから次年度も同様の実施を検討する。
- ・危機管理演習は、対面開催により意見交換や人的交流が図られ、アンケートでも必要度が高いことから次年度も対面実施を検討する。
- ・今年度の自治体の参加率(41/46自治体)は高かった。

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項 石狩川水系忠別川総合水防演習

- 石狩川上流流域における洪水などの災害に備え、防災関係機関の密接な連携と水防技術の向上・伝承、並びに地域社会全体の防災意識の高揚を図るとともに、水防に対する地域住民の理解を深める目的で実施した。
- 防災関係機関の他に、開催地の旭川市内の大学、高校、小学校、町内会などからも幅広く参加し、一般見学者を含めた参加者は1,180人となった。

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 旭川市立大学を対象とした事前出前講座

- 演習に参加した旭川市立大学の学生93名に対して、旭川市の防災部局と連携し、事前に出前講座を実施した。

<水防演習実施状況> 令和7年5月31日（土）

令和7年度
石狩川水系忠別川総合水防演習
5.31土
午前9:30～
(展示と体験は9:00～)
小雨決行
見学無料

会場：忠別川右岸 旭川地区河川防災ステーション
(旭川市東光27条8丁目地先)

洪水対策訓練 9:30～11:30 展示と体験 9:00～15:00

水防演習ポスター

洪水対策訓練



水防工法訓練

展示と体験



地下浸水体験装置



転落車両救助訓練



ミニバックホウ体験

<出前講座状況> 令和7年5月1日（木）



旭川市立大学で行った出前講座の状況

- ・旭川市の防災担当者と分担し、水防演習を通して「石狩川上流における過去の洪水状況」、「水防工法の目的や方法」、「自主防災組織の必要性」などを説明した。

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- 自治体が主催する地域住民を対象とした防災訓練において、地下浸水体験装置による洪水体験、災害対策用機械の展示(旭川市)

自治体が主催する地域住民を対象とした防災訓練において災害対策用機械の展示

自治体が主催する「地域住民を対象とした防災訓練」において、北海道開発局が所有する地下浸水体験装置による洪水体験や当部が所有する災害対策用機械（照明車、対策本部車及びパネル）を展示。防災事業への理解促進、防災知識の向上を図った。



体験装置、災害対策用機械展示(旭川市)



地下浸水体験装置による洪水体験



ペーパークラフトの配布



対策本部車の展示/トローンシミュレーターの体験



照明車の操作体験

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



■洪水を河川内で安全に流す対策を実施

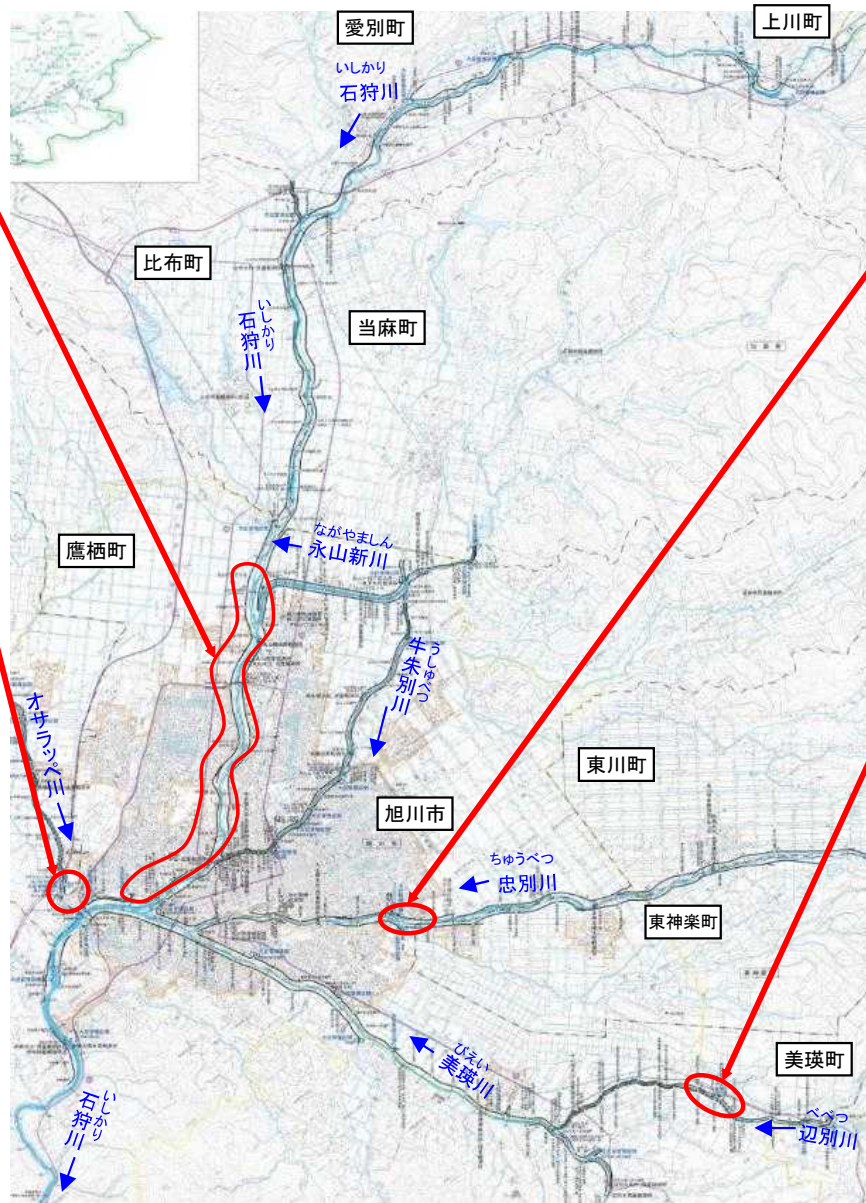
■石狩川上流減災対策協議会において策定した「概ね5年で実施する取組」に基づき、流下能力が不足する地区を中心に河道掘削・堤防整備や河岸侵食リスクを鑑み適切な侵食対策、樹木伐採を実施。



滞筋が固定化され河床低下した箇所に河道の拡張や覆礫を実施。(写真は拡張施工の様子)



水位流量観測所の観測精度向上など、複数箇所樹木伐採等を実施。(施工中の様子)

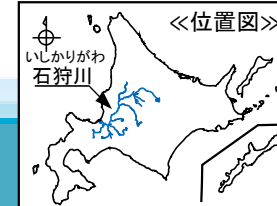


滞筋が固定化された箇所に河道の拡張や覆礫を実施。(写真は拡張施工後の様子)



洪水による河岸・堤防の侵食を防止。(写真は高速流発生に対応する堤防防護)

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- 小学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(出前講座・学習会)
- 関係機関を対象とした水防災に関する合同訓練を実施(鷹栖町・美瑛町・水防団等)

小学生を中心とした防災教育の実施

地域防災力支援の取り組みとしてモデル校を設定して指導計画作成の支援を実施している。また地域防災力向上を目的とした出前講座、学習会を実施している。



地域防災力向上の訓練

地域防災力や防災意識の向上を図るために、災害時における水防活動や避難行動等が迅速に行うことができるよう、地元自治体、地域住民と合同で防災訓練を実施している。

【参加機関】鷹栖町職員、美瑛町職員、消防団、水防団、旭川開発建設部職員



【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

■児童・生徒を対象としたダムを活用した防災教育の実施

ダムを活用した防災教育プログラムの企画・実施

上川小学校4年生

令和7年6月23日

小学4年生社会の教科書において、ダムの役割等が掲載されており授業で勉強すること。地元、上川町に位置する大雪ダムの実際の現場で理解を深めてもらう。



上川高校1年生

令和7年7月18日

防災教育コンテンツ

気候変動の影響により、近年災害は激甚化、頻発化。毎年のように災害が日本中で起こっている中で、いつ何時当事者に。避難が必要になった場合を想定した役立ち知識について学ぶ。

ダム見学と防災教育コンテンツ組合せ

平成28年8月17～23日の1週間に観測史上初めて4個の台風が北海道に接近上陸。大雪ダムでも既往最大の流入量を観測し、異常洪水時防災操作を実施。ダムの役割や効果などを説明し、防災意識向上を図る。

ダム見学



段ボールベット組立体験



応急担架体験



非常用トイレ体験



火起こし体験



【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項(ダム見学会)

- 小・中・高生、地域住民及び観光客へ防災に関する広報活動を実施した。

ダムの役割の防災教育等の実施

忠別ダムの役割や過去の出水対応について説明を行い、防災意識の向上を図った。また、ダムの堤体内を見学しダムの構造や規模について説明を行った。



操作室の説明



ダム直下からダムの規模を体感



利水放流室の説明



監査廊の階段を体験

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川地方気象台)



■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

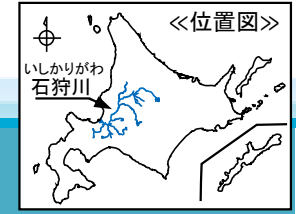
○住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等活用した情報提供のシステム構築

令和8年5月下旬から運用予定の防災気象情報(警報・注意報)の体系整理に向けた準備(情報名称の変更、警戒レベル4相当情報の新設、洪水関係の情報変更など)。

- 各防災気象情報を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、レベル4相当の情報として危険警報を新設。
- 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難! > -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川地方気象台)



■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

○市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組み・水防資機材等の情報共有

気象防災ワークショップの開催

気象台が日々発表する各種防災気象情報の利活用をより促進いただくことを目的とし、疑似的な市町村を想定し各種防災気象情報に対し各種避難情報の発令判断等をする。(名寄市役所 6/4)

地方公共団体防災担当者向け
気象防災ワークショップ in 名寄市役所
中小河川洪水災害編
令和3年度対策基本法改正対応版



各グループ内で対応について検討。

本日のスケジュール

時刻	所要時間	実施内容
9:30~ 9:50	20分	「防災気象情報について」
9:50~ 10:00	10分	オリエンテーション
10:00~ 11:20	80分	現在の状況付与・対策の検討 グループワーク・検討結果発表・解説
11:20~ 11:30	10分	まとめ



各グループ内で検討した内容を発表。

【対策検討】
【グループ検討】2日 16:16

入手した気象情報等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① 町として、洪水災害に対してどのようなことに備えますか？
→ 町では、どのようなことを準備しますか？
→ 高齢者等避難（避難レベル3）を発令するべきか否か、
→ どの地域を警戒すべきか？
→ 今後、どのような情報を特に注意すべきか？ ……等
- ② 現在の状況において住民等に伝達すべきことは何か？
→ どのような手段で、どのようなことを伝えるか検討してください。

※上記2点を町長に説明することを前提に、理由を整理してください。

40分で
検討してください。

上川・留萌管内防災連携TVによる気象解説(定時、臨時)

防災連携TVによる気象解説(定時、臨時)
毎週木曜日の定期開催と警報級の可能性が高まったときに臨時開催。気象解説以外にも振り返りや参加機関含めた情報提供の共有。(旭川・留萌各開発建設部、上川・留萌各振興局、気象台の共催)

9月29日(月)の大雨の振り返り

小平町で局地的に100mm以上の降水があり、9/29(月)03時45分に土砂災害警戒情報を発表しました。

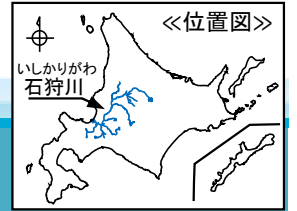
今日(2日)から明日(4日)のポイント

- 1.上川・留萌地方に、暴注意警報を発表しています。
- 2.2日(水)は、暴注意警報発表後も、引き続き、雨に注意してください。
- 3.2日(水)は、暴注意警報発表後も、引き続き、雨に注意してください。
- 4.2日(水)は、暴注意警報発表後も、引き続き、雨に注意してください。



定時：木曜日。臨時：警報級の可能性等

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川地方気象台)



■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

○小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施（防災教育への積極的な関わり）

1日防災学校への支援

管内の小中学校において、大雨・洪水や地震・津波の仕組、身を守る方法について、講話やクイズ等を実施した。

【東神楽町立東神楽小学校】

日時:令和7年8月27日(木)

対象:4年生・6年生



【比布町立比布中央学校】

日時:令和7年9月5日(金)

対象:5年生



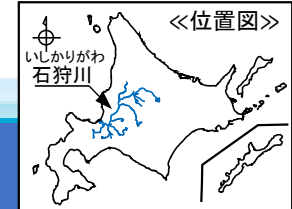
【中川町立中川中学校】

日時:令和7年10月10日(金)

対象:全校生



【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(上川総合振興局)



■ 1日防災学校の企画・支援

■ 市町村が実施する訓練・研修・講習会等への支援

■ 1日防災学校では、ハザードマップ（リスクの空白地、分散避難、立ち退き避難・屋内安全確保等にも付言）や、逃げ遅れの原因となる心理状態（正常性バイアス）等について、クイズやグループ討議等により理解を促し、地域防災力の強化につなげる。

■ 市町村職員に対する災害対策本部訓練、避難所運営訓練の企画・実施を支援し、災害対応力の向上に寄与。

令和7年度に上川管内で実施する各種支援

日時	訓練名	対象者
7/6	和寒町防災研修会	住民
7/15	幌加内中学校 1日防災学校	中学生、教員
7/28	幌加内町災害対策懇談会	関係機関、住民
8/3	富良野市災害対策本部訓練	職員、関係機関、住民
8/28	東神楽小学校 1日防災学校	小学生
9/1	和寒中学校 1日防災学校	中学生、教員
9/5	比布中央学校 1日防災学校	小・中学生、保護者、関係機関
11/4	大雪山火山噴火防災訓練	職員、関係機関
11/5	中富良野町住民避難訓練	職員、関係機関、住民
2月中旬	十勝岳火山噴火総合防災訓練	職員、関係機関、住民



東神楽小学校
1日防災学校



富良野市
災害対策本部訓練
(住民避難)

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(上川総合振興局)



洪水を河川内で安全に流す対策を実施

■旭川市の住宅地を流れる東光川の河道拡幅のほか、令和6年7月豪雨で浸水被害が生じた当麻川において河道拡幅を進めるため道道橋の改築を行う。



◎東光川(旭川市)



◎当麻川 (令和6年7月浸水状況)



◎東光川(掘削・護岸)



◎当麻川(道道橋架換着工)

【石狩川上流】減災に関する取組の実施予定(上川総合振興局)



洪水を河川内で安全に流す対策を実施

■ 過年度から引き続き、ポン川、蘭留川等において、河道掘削・堤防整備や構造物の改築を予定。

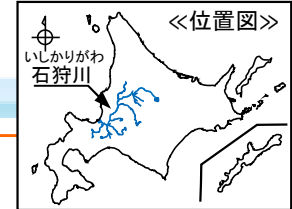


○ポン川(掘削工・築堤工予定)



○蘭留川(町道橋架換完了予定)

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(北海道旅客鉄道(株)旭川支社)



計画表(北海道旅客鉄道(株)旭川支社)

項目	短期	中期	長期
大規模水害時の連絡体制の構築	体制構築+継続		
重要水防箇所の合同巡視	体制構築+継続		

「取組方針」

安全な運行の確保

令和3年度 石狩川重要水防箇所一覧表

No.	左右岸	築堤名・工作物名	距離標	延長	種別	重要度
52	左岸	新旭川	160.00 ~ 160.20	0.20	水衝・洗掘	A
53	左岸	南永山	160.80 ~ 161.40	0.60	水衝・洗掘	A
54	左岸	南永山	162.20 ~ 163.00	0.80	水衝・洗掘	A
55	左岸	南永山	164.00 ~ 164.80	0.80	水衝・洗掘	A
56	左岸	宇園別	171.60 ~ 171.80	0.20	水衝・洗掘	A
57	左岸	中愛別左岸	182.20 ~ 182.40	0.20	水衝・洗掘	A
58	左岸	中愛別左岸	185.00 ~ 185.20	0.20	水衝・洗掘	A
59	右岸	近文	158.60 ~ 159.00	0.40	水衝・洗掘	A
67	—	伊達大橋	148.00	—	工作物	A
68	—	江神橋	151.05	—	工作物	A
69	—	近文大橋	153.17	—	工作物	B
70	—	第二石狩川橋梁(上り)	155.32	—	工作物	B
71	—	第二石狩川橋梁(下り)	155.34	—	工作物	B
72	—	旭西橋	155.71	—	工作物	B
73	—	新橋	156.75	—	工作物	B
74	—	旭橋	157.27	—	工作物	A
75	—	第三石狩川橋梁	168.61	—	工作物	B
76	—	愛山橋	188.5	—	工作物	B
77	—	第五石狩川橋梁	189.63	—	工作物	A
78	—	寿見江橋	193.1	—	工作物	B
79	—	愛山溪大橋	195.33	—	工作物	B
80	—	第六石狩川橋梁	197.37	—	工作物	A
81	—	上川大橋	197.41	—	工作物	B

リスク情報の例 重要水防箇所(旭川開建HPより)

安全に係る連絡体制の構築

管理施設や周辺の氾濫リスクの高い箇所について、河川管理者と情報共有するための連絡体制を確認し、継続的な情報共有を行う。

重要水防箇所の合同巡視等

建設年代が古く、桁下余裕高が現在の基準に照らし不足している橋梁(重要水防箇所A(工作物))について、大規模水害時の氾濫リスクを考慮して、河川管理者・橋梁管理者・地元自治体職員が合同で巡視等を実施。



【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川市)



逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクトの取組

- 安全で安心できる地域づくりを進めることを目指す「逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト」を令和4年度から開始し、当市で設けている地域まちづくり推進事業負担金制度を活用し、地域住民自らが主体となって「地区防災会議」を立ち上げ、地域の実情に応じた地区防災計画を作成している。
- 令和4年度からの3年間にかけて、合計6地区で地区防災会議を立ち上げ、地区防災計画を作成した。
- 令和7年度は、前年度に作成した地区防災計画を旭川市地域防災計画に定めたほか、新しく2地区において地区防災会議を立ち上げ、会議やワークショップを開催し、地区防災計画の作成に向け検討を進めている。

会議



防災ワークショップ



逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクトの進め方

【ステップ1】地区防災会議の立ち上げ、地区防災計画の作成

A 地区防災会議



A 地区防災計画

市民委員会、地区社協、民生委員、包括支援センター、消防団、女性防火クラブ、学校関係者 等で構成

【ステップ2】地区防災計画と連動した個別避難計画を作成

A 地区防災計画

- ・災害リスクの把握
- ・避難所、避難場所、備蓄品の状況
- ・災害時の活動、避難所の運営 等

連動

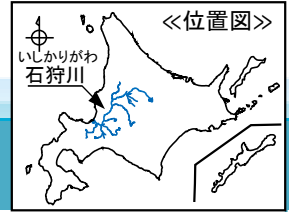


個別避難計画

- ・避難支援実施者
- ・避難先、避難経路
- ・緊急時連絡先

【ステップ3】地区防災会議が主体となって、訓練・研修を実施

【北海道】石狩川上流の減災に関する取組の実施状況(鷹栖町)



鷹栖町水防訓練の実施

■ 出水期を前に消防団と町職員による水防訓練を実施し、土のうの作成、積み方演習及び、オサラッペ川堤防釜場2か所で排水ポンプ接続の確認を行った。

事業内容：【水防訓練】土のうの詰め方、積み方演習及び排水ポンプ操作演習
【B&G研修】ドローン操作、油圧ショベル操縦、避難所防災設備稼働研修ほか



水防訓練(土のう作成)

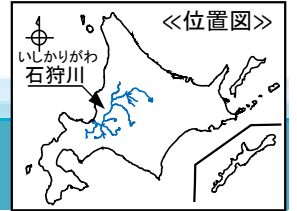


水防訓練(釜場排水ポンプ設置)



地区住民センターでの避難所運営訓練及びDoはぐ

【北海道】石狩川上流の減災に関する取組の検討(鷹栖町)



町内各地区の防災計画策定等による自主防災力の向上

- 町内の自主防災組織や地域運営組織等を対象に、地区防災計画の策定等自主防災力向上のための事業支援等を行い、地域住民による主体的な災害対応力の向上を図る。
- 今後、各地区の地域運営組織又は、自主防災組織等が実施する防災事業への参加等により実施の可否を含め実施の要領を検討中である。

事業内容：【地区防災会議】 会議において地域住民主体での地区防災計画の策定等を推進
 (案)：【避難所運営訓練】 地域住民主体による避難所の開設・運営の要領等を確立

地区防災会議の年間スケジュール (一例)

目的：地区防災計画の策定

区分	1回	2回	3回	4回
内容	地区内の防災上の特性把握	計画の構成の検討	計画の内容の検討	計画の作成及び配布
形式等	災害イメージゲーム(DIG)	ワーキングショップ(WS)	ワーキングショップ(WS)	印刷・配付

※事務局：町役場総務課総務係

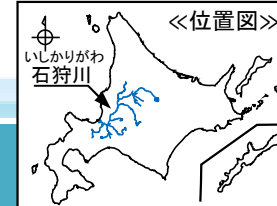
避難所運営訓練の年間スケジュール (一例)

目的：地区避難所運営マニュアルの作成

区分	1回	2回	3回	4回
内容	避難所運営の基礎	避難所及び備蓄品	開設・運営要領	マニュアル作成及び配布
備考	マニュアルの構成・内容	現地確認、使用方法等	実地訓練	印刷・配付

※訓練支援：町役場総務課総務係

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(東神楽町)



ちいきの未来を守るday～環境と食・防災フェス～の開催

■地域防災マスターによる避難所体験と講話

地域防災マスターを招き、避難所設営やダンボールベッド組立体験を通じて専門的な視点から避難所運営のポイントや災害時の課題を学びつつ、住民が災害時の生活をより具体的にイメージできる機会を提供した。

■救命救急隊員によるAED操作訓練

初期対応の重要性やAEDの使い方について、実践的な知識の習得を目的とした訓練を実施した。

■気象予報士・防災士、防災食育アドバイザーによる防災セミナー

気候変動による災害リスク、能登・熊本地震の教訓、家庭でできる備え等を多角的に学ぶ講演を実施した。

■屋外ブースで実践体験型の防災学習を展開

関係機関協力のもと、炊き出し訓練、電気自動車・水素自動車展示、ガス管内カメラ調査体験など、幅広い防災体験を提供した。



日 時：令和7年9月23日（火）
場 所：複合施設はなのわ屋外スペース
文化ホール花音
参加人数：約100人



【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(当麻町)



水中ポンプ増加購入及び町職員主体の炊き出し訓練

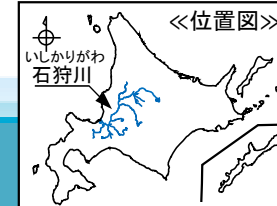
- 令和6年7月24日の豪雨の伴う教訓（水中ポンプ設置個所の見直し）により、7年度に、発電機（20KVA）2台、水中ポンプ（口径 200mm）3台、（口径 100mm）1台計4台を追加購入し、氾濫が予想される個所すべてに対応できる体制を構築
- 町の行事である「田んぼの学校」の場を活用し、職員、女性協、ボランティア団体と連携した炊き出し訓練を年2回（春・秋）実施



出水期前の5月30日（金）に購入を完了
現在の保有数（6か所8台の水中ポンプの稼働が可能）

- 水中ポンプ
口径200mm×7台、口径100mm×1台
- 発電機
60kVA×2台、20kVA×4台

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(比布町)



一日防災学校の実施

防災への関心や興味を高めるため、地域ボランティアと連携し、全児童生徒を対象とした防災教室を行った。

実施日：令和7年9月5日（月）

場所：比布中央学校 体育館

参加人数：児童生徒218名、教職員37名、地域ボランティア5名

講師：上川総合振興局地域創生部危機対策室、旭川地方気象台4名

内容：防災カルタ（1～2年）新聞スリッパ作成（3年）防災講話・段ボールベッド組立等（4年）気象台からの講演（5年）自然災害についての授業（6年）避難所運営ゲームD0はぐ体験（7～9年）昼休み集会にて校長からの防災講話（全学年）



【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(愛別町)



1地区を対象に防災講話会を実施・データ放送とアプリを活用した情報発信

●防災講話会 (中央地区)

実施日：令和7年9月26日(金) 15:00~16:30

場所：中里母と子憩の家

対象地区：中央地区・中央町地区

参加人数：11人

- 旭川地方気象台及び北海道電力ネットワーク株式会社を講師に招き、大雨から身を守ることや停電時の対応、町職員によるハザードマップの説明を行った。
- 愛別町赤十字奉仕団による炊き出し訓練を実施。
- 参加者に役場の防災備蓄品を配布し、家庭でも常に非常時持出品を用意・点検することについて呼びかけた。



●データ放送とアプリを活用した情報発信

「愛別町」

ポテトチャンネル11ch

ポテトチャンネルのデータ放送サービス

愛別町の地域・防災情報をテレビとスマートフォンのアプリで配信します

まずは、テレビでポテトチャンネル(11ch)を選択して、「dデータ」(dボタン)を押してみましょう！
「青」「赤」「緑」「黄」の4色ボタンと上下左右ボタン、「決定」ボタンだけで愛別町の情報が見られます

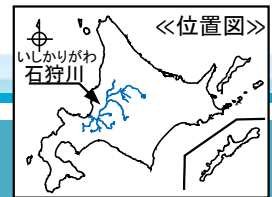
■データ放送

- ・旭川ケーブルテレビ「ポテト」チャンネルで、町内限定で役場より情報を発信。
- ・発令中の警報及び注意報等の気象防災、町内14ヶ所の天気予報を確認可能。
- ・河川に設置されているカメラで水位情報等を確認可能。

■アプリ「aiガイド」

- ・令和7年1月16日より一般向け利用開始。
- ・災害時には避難所への案内表示や安否確認が可能。
- ・データ放送で確認可能な情報は、アプリ内でも確認可能。
- ・その他、施設予約や町からのお知らせ、ゴミ分別辞典等、防災情報以外にも利用可能。

【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況（上川町）



地域住民を対象とした防災教育や出前講座による地域防災力向上を図る取り組み

- 中学生や子ども園児童を対象に消防士から災害講話を行い、防災意識の向上を図った。
- 職員向けの取組として医療センターの職員を対象とした出前講座を実施した。業務継続計画や職員初動マニュアルを用いて内容理解や災害発生後の対応業務についての説明を行い、減災に対する知識を深めた。
- 災害対応業務で避難所立ち上げと運営を行う職員を対象に、実際に誘導から受付までの演習を行った。また防災倉庫の確認と段ボールベッド等の組み立てを行い、副次的災害への理解を深めた。

中学生を対象とした避難訓練

実施日：令和7年5月14日（木）

14：00～

場 所：上川中学校

- 内 容：
- ・ 火災報知機を使用した避難訓練
 - ・ 消火器を用いた消火活動訓練



こども園を対象とした防災教育

実施日：令和7年9月10日（水）

10：00～

場 所：上川町認定こども園

- 内 容：
- ・ 消防から火災の説明
 - ・ 避難行動
 - ・ 火災防災映像の鑑賞会



職員を対象とした出前講座

実施日：令和7年8月6日（水）

14：00～

場 所：医療センター

- 内 容：
- ・ 業務継続計画の内容説明
 - ・ 職員初動マニュアルの周知



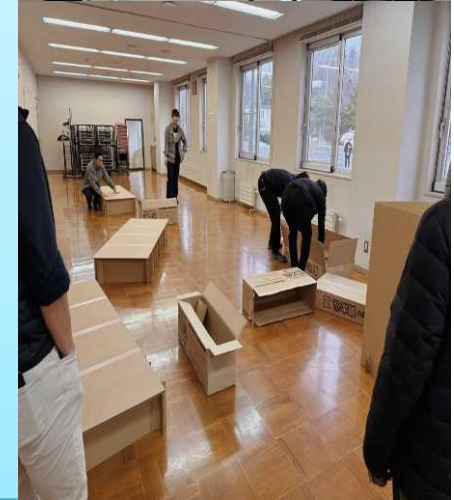
職員を対象とした避難所立ち上げ訓練

実施日：令和7年11月5日（水）

10：00～

場 所：かみんぐホール

- 内 容：
- ・ 避難者の誘導、受付の演習
 - ・ 防災倉庫の確認
 - ・ 段ボールベッド、間仕切りの組み立て



【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(東川町)



防災講習会等を開催し減災への取組み普及啓発を継続実施

- 防災・減災に対する町民の知識や技術の向上を目的とし普及啓発を実施。
- 様々な世代に意識の高揚が図れるよう継続し実施。

過去の災害事例の見返り及び減災のための講習会を開催

【学校】

- 7/4 東川第1小学校（全学年＋教職員）57名参加
- 7/23 東川中学校（3年生＋教職員）48名参加
- 7/24 東川中学校（3年生＋教職員）49名参加
- 9/1 養護学校（小、中、高等部＋教職員）138名参加
- 9/5 東川第3小学校（全学年＋教職員）36名参加
- 10/1 東川小学校（4年生＋教職員）69名参加

【町内会・自治振興会】

- 6/8 中央自治振興会 35名参加

【主な内容】

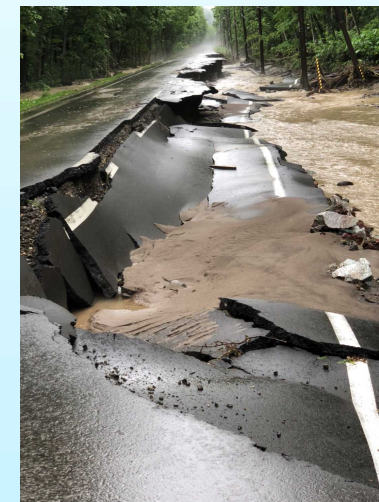
- 災害履歴より大雨によるものが多い事に留意し水災害時における基本対応等を中心に講習を継続した
- ・ 地元地域における災害歴について研修
 - ・ ハザードマップ、東川町アプリの活用法
 - ・ 段ボールベッド作成体験
 - ・ 各非常食における作成手順の確認、

【今後の予定】

各自治振興会単位での防災講習会を予定



防災教室（段ボールベッド作成体験を併催）



過去の災害から学ぶ

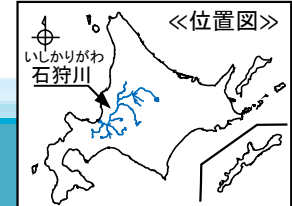


ハザードマップ活用法について

各施設見学（備蓄庫）



【石狩川上流】減災に関する取組の実施状況(美瑛町)



防災講話及び出前講座による、減災への取組と啓発活動を実施

- 防災・減災に対する町民の知識や技術の向上を目的とし普及啓発を実施。
- 様々な世代に意識の高揚が図れるよう継続して実施。

【防災講話及び出前講座による普及啓発実績】

連番	期日	要請機関等	内容	参加数	場所
1	6月3日(火) 10:00~11:00	西和会	防災講話(自らできる防災について) (災害の種類、防災とは、自主防災組織アンケート結果、ダンボールベット作成、防災食)	20名	大町行政区会館
2	6月19日(木)	旭川龍谷高等学校	防災業務説明 (砂防センター、望岳台シェルター、1号堰堤)	4名	
3	7月1日(火)	美瑛小学校	・洪水避難訓練講評(全校生徒)201+40 ・防災講座、ダンボールベット作成体験(6年生)	47名	美瑛小学校校舎 体育館
4	9月2日(水)	明德小学校	・防災講座(災害時に自分の身を守るために)全校生徒 ・防災かるた2年・3年・4年生	12名	明德小学校体育館 2年生教室
5	9月3日(木)	美馬牛小学校	防災講話(災害時に自分の身を守るために) 防災食の試食(火を使わない食事)	20名	美馬牛小学校体育館
6	9月10日(水)	デイサービス虹のうた	防災講話(十勝岳噴火災害に備えて)	7名	デイサービス虹のうた本館
7	9月26日(金)	美馬牛小学校(4年生)	十勝岳望岳台防災シェルター及び泥流センサー見学	4名	十勝岳望岳台
8	9月28日(日)	西町2・3町内会	防災講話(災害時の危険性と避難の重要性)	25名	西町なかよし児童館
9	10月7日(水)	NHK防災研修	災害対策本部説明、望岳台防災シェルター説明	16名	消防、砂防情報センター、 望岳台防災シェルター
10	10月9日(木)	美瑛高校・美瑛中学校	防災業務説明 (砂防センター、望岳台シェルター)	5名	
11	10月15日(水)	美瑛中学校(全校)	防災講話(自然災害に向けた心構えと自分にもできる防災)	210名	美瑛中学校体育館
12	10月16日(木)	美瑛中学校(3年生)	防災講話及びダンボールベット作成	78名	美瑛中学校体育館
13	10月15日(水)	美瑛東小学校(4年生)	防災講話及びダンボールベット作成	23名	美瑛東小学校教室
14	10月23日(木)	旭川志峯高校		2名	
15	11月14日(金)	美瑛町高齢者事業団	防災講話及びダンボールベット作成	80名	美瑛農協3階会議室
累 計				758	

